NTT docomo

N-08D

取扱説明書　’12.9

MEDIAS TAB UL

はじめに

「N-08D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書の記載について

- 本書では「アプリケーション一覧画面」からの手順を記載している箇所がございます。「アプリケーション一覧画面」までの操作についてはP.53を参照してください。
- 本書では操作手順を以下のように簡略して記載しています。

表記	意味
アプリケーション一覧画面で「設定」▶「通話設定」	アプリケーション一覧画面で「設定」をタップする ▶「通話設定」をタップする

- 本書の本文中においては、『N-08D』を『本端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書はお買い上げ時の設定（ホームアプリは「docomo Palette UI」）をもとに説明しています。ホームアプリを変更するなどで、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

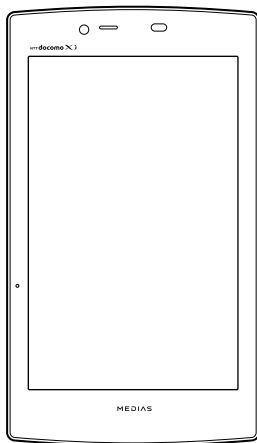
■「クイックスタートガイド」（本体付属品）
基本的な機能の操作について説明しています。

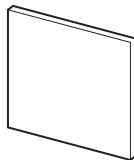
■「eトリセツ（取扱説明書）」（本端末のアプリケーション）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
- アプリケーション一覧画面でをタップする

※「eトリセツ（取扱説明書）」をアンインストールした場合は、が表示されません。Google Play™からダウンロードしてください。

■「取扱説明書」（PDFファイル）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

N-08D（保証書含む）

●「オプション・関連機器のご紹介」→P.138

N-08Dクイックスタートガイド

microSDカード（2GB）※
（試供品）

※お買い上げ時には、あらかじめ本端末に取り付けられています。

目次

本端末のご利用について

- N-08DはLTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、データ通信を無効に設定した場合でもパケット通信料がかかる可能性があります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Android™ 向けアプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、ワンセグの視聴、シャッター音、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「端末の状態」

- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.146
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- 本端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後は、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや本端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.95
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogle サービスを他人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意
（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

■本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーを「ON」にして通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.14「6.材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

3.アダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

4. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6.材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ周囲	PC樹脂	UVコーティング
	背面	カーボンファイバー、ナイロン樹脂	ウレタンコーティング
	カメラ周囲	PC樹脂	UVコーティング
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム、UVコーティング
ライトパネル		アクリル、PC複合樹脂	ハードコート
カメラパネル		アクリル	ハードコート
カメラリング		PC樹脂	UVコーティング
電源／ボリュームキー		PC樹脂	UVコーティング
microSDカード／ドコモminiUIMカードスロットキャップ		PC樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー	UVコーティング
ワンセグアンテナ	上段／中段	ステンレス	−
	下段	ニッケルチタン合金	−
	根元ヒンジ部	ステンレス	−
	先端キャップ	ABS樹脂	−
充電端子		りん青銅	金メッキ
イヤホンマイク端子		ナイロン樹脂	−

7.microSDカード（試供品）の取り扱いについて

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

異常な音や臭いがしたり、過熱、発煙した時は、すぐにパソコンなどの使用機器および周辺機器のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、microSDカードには触らないでください。

再び使用せずに、本書裏面の「NECモバイルインフォメーションセンター」へお問い合わせください。

⚠注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込むと窒息またはけがの恐れがあります。万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

禁止

端子部に直接触れたり金属や硬い物をあてたり、ショートさせたりしないでください。

静電気などによりデータが破壊、消失する恐れがあります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

microSDカードは、SDメモリカード規格標準のフォーマット済みです。microSDカードをフォーマットする場合は、microSDカードに記憶されたデータが消失されますので、別にバックアップを取るなどして保管してください。

パソコンおよびSDメモリカード規格非準拠の機器でフォーマットを行うと、データの書き込み、あるいは読み出し、消去ができないなどの異常が発生することがあります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **バイブレータの振動で本端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。**
- **外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はmicroSDカードスロットのキャップ、ドコモminiUIMカードスロットのキャップを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **受話口／レシーバーや送話口／表マイク、裏マイク、スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
  本端末の故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

  本端末の Bluetooth 機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

①　②③④⑤

2.4 FH 1/XX 4

⑥

①	2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②	FH	：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③	1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④	XX	：変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤	4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑥		：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LANについてのお願い

●**無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

●**無線LANについて**

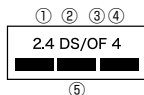
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●**周波数帯について**

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、以下の操作を行うとご確認いただけます。

アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「認証情報」

ラベルの見かたは次のとおりです。

①	2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②	DS	：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③	OF	：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④	4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤	▬▬▬	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所、周波数などが制限されている場合があります。その国の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

microSDカード（試供品）についてのお願い

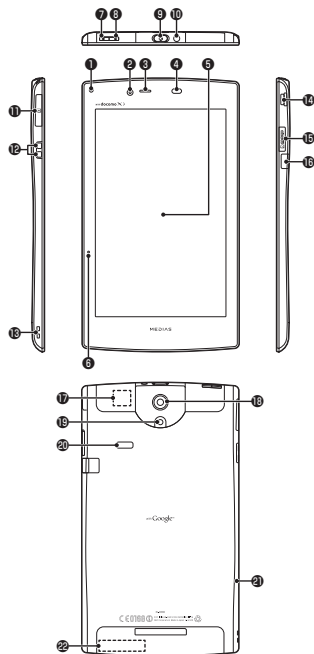
- **水をかけないでください。**
  microSDカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **金属端子部はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **金属端子部を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **microSDカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **お客様ご自身で、microSDカードに登録された情報内容は、別にバックアップを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **microSDカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **microSDカード使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。

- **microSDカードにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。**
- **microSDカードは、長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。**
- **試供品は無料修理保証の対象外となっております。**

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」が本端末の電子銘版に表示されております。電子銘版は、本端末で以下の操作を行うことでご確認いただけます。

  アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「認証情報」
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください（通話を除く）。**

各部の名称と機能

❶ **お知らせLED**
- 充電中
- 着信時（着信ランプ）→P.89
- 不在着信、新着メール（お知らせランプ）→P.89

❷ **内側カメラ**
- 動画や静止画撮影のときに使用します。→P.117

❸ **受話口／レシーバー**

❹ **近接／照度センサー**
- タッチパネルの誤作動を防ぐため、通話中に顔が近づいたのを検知すると、タップが有効なアイコンを消去します。
- 周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動で調整することができます。→P.89

※ センサー部分にシールなどを貼らないでください。

❺ **ディスプレイ（タッチパネル）**
- ディスプレイに表示された画面をなぞってスクロールしたり、選択したりできます。→P.33

❻ **送話口／表マイク**
- 通話時、内側カメラでの動画撮影時に使用します。

❼ **◁ボリュームキー（音量小）**

❽ **▷ボリュームキー（音量大）**

❾ **⏻電源キー**
- 電源のON／OFFやスリープモードにします。→P.33

❿ **イヤホンマイク端子**
- ヘッドホンなどを接続する直径3.5mmの接続端子です。

⓫ **ドコモminiUIMカードスロット**
- ドコモminiUIMカードを挿入します。→P.25

⓬ **充電端子**

⓭ **ストラップ取付穴**

⓮ **外部接続端子**
- 充電時やパソコン接続時などに使用する接続端子です。

⓯ **microSDカードスロット**
- microSDカードを挿入します。→P.27

⓰ **ワンセグアンテナ**
- ワンセグを受信します。→P.113

⓱ **GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ**※

⓲ **外側カメラ**
- 動画や静止画撮影のときに使用します。→P.117

⓳ **撮影認識LED／ライト**
- カメラ撮影のときに、点灯させることができます。
- カメラ起動中は赤色で点滅します。

⓴ **スピーカー**

㉑ **裏マイク**
- 外側カメラでの動画撮影時に使用します。

㉒ **Xiアンテナ**※

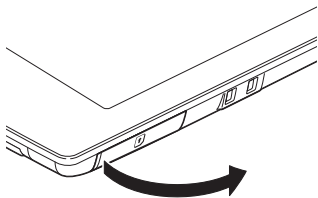
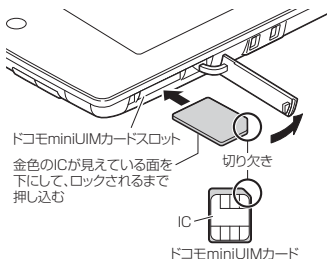
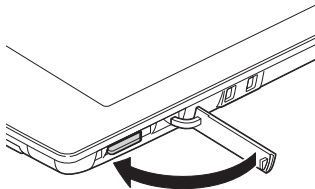
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードはお客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。
本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

- 本端末にドコモminiUIMカードを取り付けないと、一部の機能は利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについての詳細は、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、本端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

1 ドコモminiUIMカードスロットのキャップを開ける

2 ドコモminiUIMカードのIC面を下にして、図のような向きでドコモminiUIMカードスロットに差し込み、ドコモminiUIMカードがロックされるまで押し込む

3 図のように矢印の方向にしっかりとキャップ全体を押し込んで取り付ける

■取り外しかた

ドコモminiUIMカードを押し込むとドコモminiUIMカードが少し出てきます。

※ ドコモminiUIMカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

ドコモminiUIMカードをまっすぐにゆっくりと抜きます。

おしらせ

- 無理に取り付け／取り外しを行うと、ドコモminiUIMカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込むことができます。

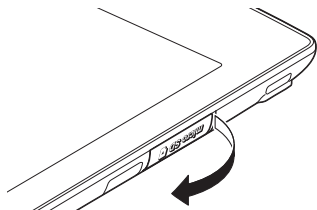
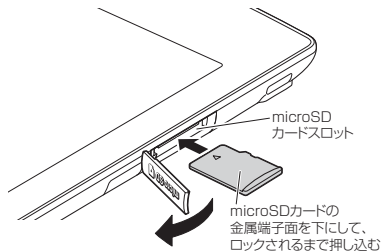
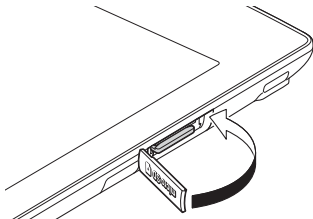
- N-08Dでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年9月現在）。
  microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
  掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードメーカへお問い合わせください。

microSDカード利用上のご注意

フォーマットは必ずN-08Dで行ってください。他の端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。→P.92

- microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードのデータにアクセス中は電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できない場合があります。また、本端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、本端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

1 microSDカードスロットのキャップを開ける

2 microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

3 図のように矢印の方向にしっかりとキャップ全体を押し込んで取り付ける

■取り外しかた

microSDカードを押し込むとmicroSDカードが少し出てきます。

※ microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

microSDカードをまっすぐにゆっくりと抜きます。

充電

●お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電について

- 詳しくは、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01（別売）、ACアダプタ 03（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、DCアダプタ 03（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 03、FOMA海外兼用ACアダプタ 01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- プラグを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 内蔵電池が空の状態で充電を開始すると、しばらくの間本端末の電源が入らない場合があります。

■充電時間（目安）

本端末の電源を切り、電池残量のない状態から充電したときの充電時間です。

ACアダプタ 03	約300分
DCアダプタ 03	約320分

■十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や内蔵電池の状態によって使用時間は異なります。

●ワンセグ視聴やGPS機能の使用によって、本端末の使用時間は短くなります。

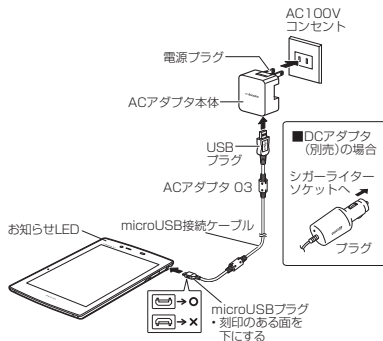
連続待受時間
LTE • 静止時（「自動」設定時）：約570時間 FOMA／3G • 静止時（「自動」設定時）：約900時間 GSM • 静止時（「自動」設定時）：約650時間
連続通話時間
FOMA／3G：約690分 GSM：約760分
ワンセグ視聴時間
約470分

■内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

- ACアダプタ 03（別売）※／DCアダプタ 03（別売）を使って充電します。

※ ACアダプタ 03は、ACアダプタ本体とmicroUSB接続ケーブルで構成されています。

1 **microUSB接続ケーブル／DCアダプタのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に水平に差し込む**

- microUSBプラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

2 **microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタ本体に水平に差し込む**

- DCアダプタ 03を使用する場合は、本操作は不要です。

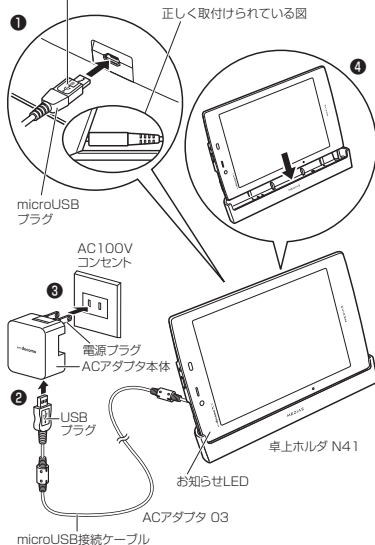
3 **ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに／DCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットに差し込む**

4 **充電が完了したら、ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから／DCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットから取り外す**

5 **microUSBプラグを本端末から水平に取り外す**

卓上ホルダで充電する

- 卓上ホルダ N41（別売）とACアダプタ 03（別売）※を使って充電する方法を説明します。

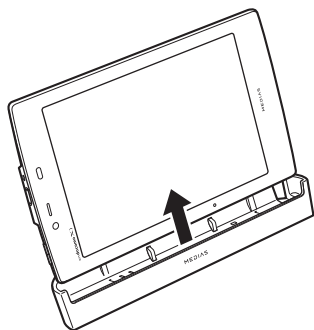
※ ACアダプタ 03は、ACアダプタ本体とmicroUSB接続ケーブルで構成されています。

1 **microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを卓上ホルダの背面の端子に水平に差し込む**

- microUSB プラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

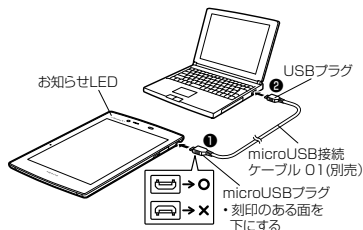
2 **microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタ本体に水平に差し込む**

3 **ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む**

4 **卓上ホルダを押さえながら、図のように本端末を矢印の方向に差し込む**

5 **充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながら本端末を取り外す**

6 ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜き、microUSB接続ケーブルをACアダプタ本体と卓上ホルダから取り外す

パソコンで充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01(別売)で接続して、本端末を充電することができます。

1 microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む

3 充電が完了したら、microUSBプラグを本端末から水平に取り外す

4 USBプラグをパソコンのUSBポートから水平に取り外す

おしらせ

- 充電中はお知らせ LED が赤く点灯し、電池残量が90%以上になると緑色で点灯します。充電が完了すると消灯します。
- 本端末の電池は内蔵されており、特性上、ご使用になる際に電源が入らないことがあります。充電を行うことにより解消されますが、電源が入るまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 電源が切れている状態から充電をはじめると、充電がはじまるまでに時間がかかる場合があります。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 ⏻ **（2秒以上）**

- はじめて電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。→P.36
- ホーム画面が表示されます。→P.50

■電源を切る

1 ⏻ **（1秒以上）▶「OK」**

■ スリープモードについて

⏻ を押したり、本端末を一定時間操作しないと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
⏻ を押して、スリープモードを解除できます。

■ 画面ロックについて

電源を入れたり、スリープモードを解除したときは、タッチパネルがロックされています。→P.96
🔒をタップすると、ロックが解除されます。

●画面ロックセキュリティが設定されていない場合、画面ロック中（スリープモード解除時）に通知パネルを利用できます。

基本操作

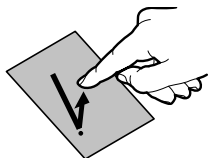
本端末はタッチパネル（ディスプレイ）を指で直接触れて操作します。

■タッチパネル利用上の注意

●タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面にのせたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

●ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶときは、スリープモードにした状態で持ち運んでください。スリープモードを解除した状態だと、誤動作を起こす原因となります。

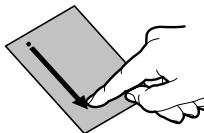
■ タップする

項目の選択や実行を行います。

タッチパネルに軽く触れて、指を離します。

■ロングタッチ

タッチパネルに長く触れることで、メニューが表示される場合があります。

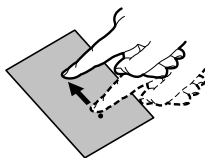
■ スライドする

表示したい方向に画面を上下左右にスクロールします。

タッチパネルに触れたまま、指を動かします。

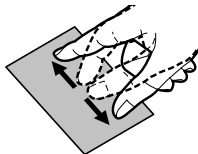
■ドラッグ

アイコンなどを指で触れたままスライドすることで、移動することができます。

■ フリックする

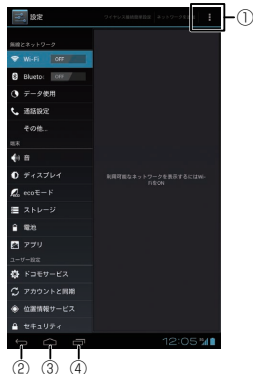
表示したい方向に画面をすばやくスクロールします。

すばやくスライドし指を離します。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

画面を拡大／縮小表示させます。

2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間隔を広げる／狭めるようにスライドします。

おしらせ

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると操作が中止されることがあります。

タッチキーの操作

① ⋮ : 表示している画面で実行できるメニューを表示します。表示される位置はアプリケーションによって異なります。

② ⮌ : 一つ前の画面に戻ります。直前の画面に戻りたいときなどに利用します。

③ ⌂ : ホーム画面を表示することができます。機能を利用しているときにホーム画面に戻ることができます。

④ ▭ : 最近利用したアプリケーションやバックグラウンドで実行中のアプリケーションを表示します。

画面の表示方向を切り替える

本端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。

- 表示中の画面によっては、画面表示が切り替わらない場合もあります。
- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、画面表示は切り替わりません。
- 通知パネル（P.42）から をタップして、画面表示を自動で切り替わらないように設定できます。

スクリーンショット

ディスプレイに表示されている画面を撮影します。

1 撮影したい画面を表示し、[⏻]と[◁]を同時に1秒以上押す

- 撮影した画像は自動的に保存されます。「ギャラリー」から閲覧できます。
- 画面によっては正しく画像を撮影できない場合があります。

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

本端末の電源をはじめて入れたとき、以下の設定が必要になります。

1 初期設定画面が表示されたら言語をタップ▶「次へ」

2 表示内容を確認▶「次へ」

3 Googleのアカウントを設定する場合は「設定する」

- 画面に従ってGoogle アカウントの設定、バックアップの設定を行い、「次へ」をタップします。

4 Googleの位置情報サービスを利用する場合は、チェックを入れる▶「同意する」▶「次へ」

5 ソフトウェア更新に関する説明を確認▶「次へ」

6 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「進む」

7 表示内容を確認し、アプリ一括インストールを行う場合は「インストールする」のラジオボタンをタップ▶「進む」

8 ドコモアプリパスワードを設定する場合は「設定する」

- 画面に従ってドコモアプリパスワードの設定を行ってください。

9 位置提供設定の表示内容を確認し、設定する項目のラジオボタンをタップ▶「進む」

10 プリインアプリ利用状況を送信する場合は「利用状況を送信する」のラジオボタンをタップ▶「進む」

11 「OK」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時は、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

■ 利用するアクセスポイントを設定する

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 利用するアクセスポイントのラジオボタンをタップ

■ アクセスポイントを追加で設定する

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「⋮」▶「新しいAPN」

3 「名前」▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶「OK」

4 「APN」▶アクセスポイント名を入力▶「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

6 「↩」▶「保存」

おしらせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントを初期化する

- アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「⋮」▶「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。mopera Uの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ mopera Uを設定する

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「mopera U」／「mopera U設定」のラジオボタンをタップ

おしらせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、mopera Uの初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Wi-Fi設定

Wi-Fiは、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントを利用して、メールやインターネットを利用する機能です。

■Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

■ Wi-FiをONにしてネットワークに接続する

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」にする

- 自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なWi-Fiネットワークの名称が一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークの名称をタップ▶「接続」

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、接続に必要な情報を入力し、「接続」をタップしてください。

■ ワイヤレス接続簡単設定でWi-Fiネットワークに接続する

●アクセスポイント対応機器が「らくらく無線スタート」、「WPS」に対応している場合、アクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」にする

3 「ワイヤレス接続簡単設定」▶「らくらく無線スタート」／「WPS（プッシュボタン）」

■ らくらく無線スタートの場合

- アクセスポイントのPOWERランプが緑色に点滅するまで「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- アクセスポイントのPOWERランプがオレンジ色に点灯するまで、もう一度「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- ステータスバーにが表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

■ WPS（プッシュボタン）の場合

- アクセスポイントの検索がはじまりますので、アクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。以降は画面の指示に従って操作を行います。
- ステータスバーにが表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。
- WPSを実施したアクセスポイントのセキュリティがWEP設定の場合、接続できません。

■ Wi-Fiネットワークを手動で追加する

●アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」にする

3 「ネットワークを追加」

4 追加するWi-Fiネットワークのネットワーク SSIDを入力し、セキュリティ（なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP）を選択

5 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶「保存」

■ 接続中のWi-Fiネットワークを切断する

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ▶「切断」

おしらせ

●Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

おしらせ

- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、と「制限つきで接続済み」もしくは「認証に問題」が表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力してもと「制限つきで接続済み」が表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

メールのアカウントを設定する

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定すると、Eメールを利用できるようになります。

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーション一覧画面で「メール」

■ **アカウントを追加で設定する場合**

▶「 」▶「設定」▶「アカウントを追加」

2 メールアドレスとパスワードを入力▶「次へ」▶画面に従って設定する

- プロバイダ情報がプリセットされているメールアカウントの場合は、送信／受信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないメールアカウントの場合は、手動で設定する必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

Googleなどのアカウントを設定する

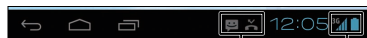
Googleのアカウントを設定することで、GmailやGoogle Playを利用できるようになります。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「アカウントと同期」

2 「アカウントを追加」▶アカウントの種類をタップ

3 画面に従ってアカウントを設定する

ステータスバーを利用する

ステータスバーには通知情報を示す通知アイコンと本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	説明
／／	要充電／電池残量／充電中
	電波状態
	国際ローミング中
	圏外
／	LTE通信中／使用可能
／	3G通信中／使用可能
／	GPRS通信中／使用可能
	機内モード設定中
／	Wi-Fi接続中／通信中
	Wi-Fi接続中（制限つきで接続）
／	Bluetooth機能ON／対応機器接続中
	ドコモminiUIMカード未挿入
／	マナーモード（バイブレーション／ミュート）
／	お好みecoモードON／しっかりecoモードON

■ 主な通知アイコン

アイコン	説明
	伝言メモあり
	本端末の空き容量が不足し、伝言メモで録音できないとき
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着spモードメールあり
	新着SMSあり
	SMS送信失敗
	留守番電話あり
	新着インスタントメッセージあり
	エリアメールあり
	カレンダーの予定あり
	アラームがスヌーズ中
	メディアプレイヤーで音楽データを再生中
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル着信あり
	GPS測位中
	USB接続中
	不在着信あり

アイコン	説明
	データアップロード／送信
	データダウンロード／受信
	アプリケーションインストール完了
	インストール済みアプリケーションアップデートあり
	MEDIAS NAVIの更新あり
	ソフトウェア更新あり
	メジャーアップデート更新あり、更新中
	PC Link接続中
	PC Link利用可能
	PC Linkの確認メッセージあり
	タップサーチ中
	エラー／警告メッセージあり
	本端末の空き容量が不足
	USBテザリング利用中
	Wi-Fiテザリング／Wi-Fi Direct利用中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中
	VPN接続中
	おまかせロック設定中

通知パネルを利用する

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

1 画面右下をタップ

① 日付や時刻、在圏する事業者名称やサービスを提供する事業者名称などを表示します。タップすると設定メニューを起動します。

② タップサーチを利用します。→P.60

③ アイコンをタップして、各機能の設定を切り替えます。

- マナー：マナーモードのON／OFF切替
  マナーモードON時にバイブレーションが動作する場合はマナーを表示→P.88
- 画面回転：画面の自動回転のON／OFF切替→P.89
- ecoモード：ecoモードの切替→P.90
- GPS：GPS機能のON／OFF切替→P.125
- Bluetooth：Bluetooth機能のON／OFF切替→P.83
- Wi-Fi：Wi-Fi機能のON／OFF切替→P.38
- 明るさ：明るさの切替→P.89
- 自動同期：アカウント自動同期のON／OFF切替→P.94
- サラウンド：サラウンドの切替→P.89
- Haptics：ハプティクス設定のON／OFF切替→P.88
- 通知：通知表示のON／OFF切替

④ 不在着信やダウンロードの完了などの情報が表示されます。

■ 通知パネルを閉じる

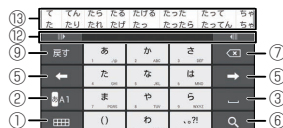
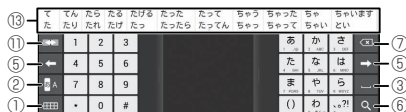
▶画面の通知パネル以外の場所をタップ

文字入力

本端末では、ディスプレイに表示されるキーボードで文字を入力します。テキストボックスをタップすると、キーボードが表示され、文字が入力できます。

● キーボードには以下の2種類のキーボードがあります。

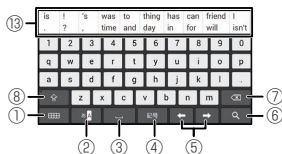
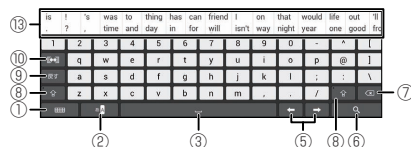
■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。

縦画面

横画面

■QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

縦画面

横画面

①	[キーボード切替]	[QWERTY]／[テンキー]：QWERTYキーボード／テンキーキーボードを切り替えます。 [♥] [(^_^)] [#!?"] [絵文字] [手書き] [定型文] [文字コード] →P.46
	後変換	ひらがな／カナ／英字などに文字を変換します。
	カナ英数	テンキーキーボードのとき、カナ／英数などに文字を変換します。 半角／全角の切り替えもできます。
②	あA あA1	入力する文字種を切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。 [ATOKメニュー] •「ATOKの設定」：「文字入力に関する設定を行う」→P.47 •「単語登録」：単語を登録します。登録した単語は文字変換時に利用できます。
③	[スペース]	スペースを入力します。
	変換	入力文字の変換を行います。
④	記号	キーボードを記号入力に切り替えます。
⑤	[←] [→]	カーソルを移動します。変換時は変換範囲を変更します。
⑥	[↵]	改行の入力、入力文字を確定します。
	次へ	電話帳など次のテキスト入力欄があるときに、入力を完了し次の項目に移動します。
	実行 [検索]	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに、入力したテキストボックスの機能を実行します。
⑦	[削除]	カーソル位置の左の文字を削除します。 テンキーキーボードでは「文字削除キー」（P.47）で右の文字を削除（CLR）にすることもできます。
⑧	[⇧]	1回タップすると次に入力する文字が大文字になり（[⇧]）、2回タップすると大文字に固定します（[⇧]）。一部記号も入力できます。
⑨	[⮌]	テンキーキーボードのとき、1つ前の文字を表示（逆順）します。
	戻す	1つ前の操作を取り消します。

⑩	[icon]	キーボードを左右に分けて表示します。元に戻すには[icon]をタップします。
⑪	[icon]	左右のキーボードの位置を入れ替えます。
⑫	[icon] [icon]	キーボードの左右の幅を調整します。
⑬	-	文字入力時に変換・推測候補が表示され、タップして文字を入力することができます。 • 左右にスライドすると、その他の変換・推測候補を表示します。 • 下にフリックすると、変換・推測候補の表示枠が広がります。 表示枠を上にフリックすると元に戻ります。

※ 縦画面表示、横画面表示によって表示されるアイコンは異なります。

■ テンキーキーボードの入力方式を選択する

テンキーキーボードで文字を入力するときの入力方式を選択します。

1 **文字入力画面で[あA]／[あA1]／[漢ア A1]をロングタッチ▶「ATOKの設定」▶「入力方式」**

2 **「ケータイ入力」／「ジェスチャー入力」／「フリック入力」／「T9入力」／「2タッチ入力」**

■ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーのまわりにジェスチャーガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の文字までスライドします。

また、タップした指を下に1回または2回スライドすることで、濁音／半濁音／小文字のジェスチャーガイドを表示できます（英字入力時は、大文字／小文字を切り替えます）。

例：「ぱ」を入力する場合

下に2回
スライド

■フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーの上にフリックガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の方向にフリックします。

また、フリック入力後 ゛゜小 を1回または2回タップして、濁音／半濁音／小文字を入力できます。

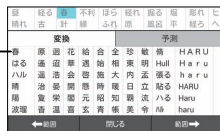
■T9入力

入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、表示された予測候補の中から目的の文字を選択して入力します。

例：「春」を入力する場合

▶「は」「ら」とタップ

予測候補に「春」と表示されるのでタップします。

- 目的の文字が予測候補にないときは、読み編集をタップして、読みを入力します。
- 濁音／半濁音を入力する場合は、゛゜をタップします。
- 英語と日本語を切り替えるときは英語／日本語をタップします。
- 漢字かなをタップして、予測候補の表示を「漢字／かな」に切り替えることができます。

「変換」タブに「はる」の候補が表示されるので、「春」をタップします。「予測」タブには「はる」からの予測候補が表示されます。

- 変換範囲を変えたい場合は、←範囲／範囲→をタップします。

■2タッチ入力

2つのダイヤルボタンをタップし、1つの文字を入力します。

例えば「う」を入力したい場合は、最初に「あ」をタップします。すると「あ」に割り当てられている文字が表示されるので、次に「う」をタップします。

■ 絵文字／顔文字／記号パレットで入力する

1 文字入力画面で「⌨」

2「♥」／「(^_^)」／「#!?"」

- キーボードに該当のパレットが表示されます。

■ 定型文／文字コードから入力する

▶「定型文」／「文字コード」

■ 電話帳のデータを引用する

▶「👥」▶「電話帳／ATOKダイレクト」▶電話帳をタップ▶引用したい項目にチェックを入れる▶「OK」

■ Myコレに追加する

• 各カテゴリの候補をロングタッチすると　Myコレに追加することができます。入力したい文字をMyコレからすばやく選択することができます。
顔文字と記号はMyコレユーティリティ（P.49）を使って独自の候補を登録することができます。

■ 手書きで文字を入力する

● 手書きで認識できる文字は漢字・ひらがな、カタカナ、英字、数字です。

1 文字入力画面で「 」▶「 」

2 手書きで文字を入力する

• 別の文字を入力する場合は、カーソルを移動します。

文字入力に関する設定を行う

キー操作時の操作音やバイブレーション、文字のサイズなど文字入力に関する設定を行います。

1 文字入力画面で あA ／ あA1 ／ 漢ア A1 をロングタッチ▶「ATOKの設定」

2 以下の項目から選択

入力方式…P.45

入力補助…入力補助の設定を行います。

キー操作音…操作時に操作音が鳴るように設定します。

キー操作バイブ…操作時に振動するように設定します。

トグル入力…ジェスチャー入力、フリック入力時でもケータイ入力ができるように設定します。
「自動カーソル移動を行う」にチェックを入れると、入力方式がケータイ入力のときに、一定時間入力をしないと、カーソルを右に移動するように設定します。カーソルが移動するまでの早さも設定します。
「ジェスチャー／フリック入力時にもケータイ入力を有効にする」にチェックを入れていると、ジェスチャー入力、フリック入力でも自動カーソル移動を行います。
自動カーソル移動の設定は「入力方式」の設定ごとに変更されます。

文字削除キー…文字削除時、カーソルの左の文字を削除（「バックスペース（ ）」）するか、右の文字を削除（「クリア（CLR）」）するかを設定します。

数字テンキー（縦画面）…縦画面でテンキーキーボードのときに、数字のキーボードを利用するかしないかを設定します。

ジェスチャーガイド…ジェスチャー入力時にジェスチャーガイドを表示するかどうかを設定します。チェックを入れるとガイドが表示され、ガイドが表示されるまでの早さを設定できます。

フリックガイド…フリック入力時にフリックガイドを表示するかどうかを設定します。

フリック感度…フリック入力で文字を打つときの文字選択の感度を設定します。

修飾キーフリック…フリック入力時に濁音／半濁音を、゛゜小のフリック操作で入力できるように設定します。

英字キーフリック…英字入力時の右フリックに割り当てる文字を設定します。

切り替え時は英字…テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに、英字になるように設定します。

英字は確定入力…英字で文字を入力するときに、文字を確定した状態で入力するように設定します。

数字キー表示（縦画面）…縦画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

数字キー表示（横画面）…横画面でQWERTYキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

マルチタッチ…QWERTYキーボードで、シフトキーや文字キーを同時にタップできるように設定します。

入力枠数（縦画面）…縦画面で手書き入力するときの入力枠数を設定します。

認識確定時間…手書きで文字を入力するときに、文字認識を確定するまでの時間を設定します。「入力枠数（縦画面）」が1つの場合に設定できます。本設定は縦画面でのみ有効です。

初期選択カテゴリー…絵文字・顔文字・記号を入力するときに、最初に選択されるカテゴリーを設定します。

スペースは半角で出力…日本語入力時にもスペースを半角で入力するように設定します。

自動スペース入力…英字入力時に単語を確定すると自動的にスペースを挿入するように設定します。

文字削除フリック…⌫／CLRを上や左にフリックしたときに、文字をまとめて削除する機能を有効にするかどうかを設定します。

自動全画面化（横画面）…横画面のとき、文字入力欄を自動的に全画面表示にするかどうかを設定します。

変換・候補…文字の変換・推測候補について設定を行います。

推測変換…文字入力時に推測候補を表示するよう設定します。

未入力時の推測候補表示…入力を確定（変換）した文字に続く単語を推測して、候補を表示するように設定します。推測変換にチェックが入っている場合に選択できます。

学習データの初期化…学習データ、絵文字・顔文字・記号入力パネルの履歴を初期化します。

辞書・定型文・Myコレ…辞書・定型文・Myコレなどの設定を行います。

辞書ユーティリティ…ユーザー登録単語データの管理をします。

定型文ユーティリティ…ユーザー定型文データの管理をします。絵文字に対応していないテキストボックスでは、絵文字を使用している定型文は表示されません。

Myコレユーティリティ…Myコレを編集します。

ATOK拡張辞書…ATOK拡張辞書を設定します。

ATOK Sync…Windows／Mac版ATOKで登録した単語を共有します。

画面・表示…文字入力画面の表示について設定を行います。

テーマ…キーボードのデザインを設定します。

キーサイズ…キーボードのサイズを設定します。

文字サイズ…変換・推測候補の文字サイズを設定します。

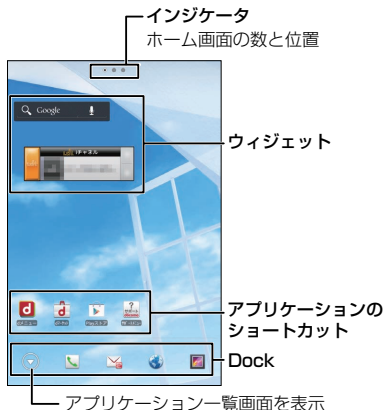
表示行数（縦画面）…縦画面表示での変換・推測候補の表示される行数を設定します。

表示行数（横画面）…横画面表示での変換・推測候補の表示される行数を設定します。

設定の初期化…ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。学習データや追加したユーザー辞書の単語、定型文、Myコレは初期化されません。

日本語入力システム ATOK…ATOKのバージョン情報を表示します。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、[ホームキー]をタップして呼び出すことができます。

■ホーム画面のページを切り替える
▶右または左にホーム画面をフリック

ホーム画面を管理する

ホーム画面では、アプリケーションのショートカットを追加したり、フォルダを作成することができます。

アプリケーションのショートカットなどをホーム画面に追加する

1 ホーム画面をロングタッチ

2 「ショートカット」

■ ウィジェットを追加する
▶「ウィジェット」

3 追加したいアプリケーションをタップ

- ホーム画面にアプリケーションのショートカットが追加されます。

ショートカットを移動する

1 ホーム画面で移動したいショートカットをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグし、指を離す

- 他のページにショートカットを移動するときは、画面の右端または左端にショートカットをドラッグすると、ホーム画面が左右にページ移動します。

Dockを設定する

1 ホーム画面で追加したいショートカットなどをロングタッチ

2 移動したいDockの位置までドラッグし、指を離す

- ドラッグ先のアイコンと入れ替わります。

おしらせ

● ◎は入れ替えできません。

ショートカットを削除する

1 削除したいショートカットをロングタッチ

2 画面下部の 🗑 までドラッグし、指を離す

- ロングタッチした後、「削除」をタップしても削除できます。

アプリケーションやウィジェットをアンインストールする

1 ホーム画面でアンインストールしたいアプリケーション（ショートカット）やウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」▶「OK」▶「OK」

- アンインストールできないアプリケーションやウィジェットもあります。

フォルダをホーム画面に作成する

1 ホーム画面をロングタッチ

2 「フォルダ」

3 作成するフォルダの種類をタップ

■ フォルダにショートカットを追加する

● フォルダの種類が「新しいフォルダ」でのみ追加できます。

1 フォルダに追加したいショートカットをロングタッチ

2 ショートカットを追加したいフォルダまでドラッグし、指を離す

- フォルダをタップすると、フォルダが開き、そこからショートカットを選択できるようになります。

■ フォルダの名前を変更する

1 名前を変更したいフォルダをタップ

2 タイトルをロングタッチ

3 タイトルを入力▶「OK」

ホーム画面を切り替える

1 アプリケーション一覧画面で「ホーム切替」

2 「常にこの操作で使用する」にチェックを入れる▶切り替えたいホームアプリをタップ

きせかえを利用する

1 ホーム画面をロングタッチ▶「きせかえ」

■ **壁紙を変更する**

▶「壁紙」▶「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」／「壁紙ギャラリー」▶設定したい画像をタップ▶「壁紙に設定」

- 「ギャラリー」を選択した場合は、壁紙に設定したい画像を選んで、壁紙として使用する箇所を、トリミング枠をドラッグして指定します。「トリミング」をタップすると、壁紙として設定されます。
- 「ライブ壁紙」を選択した場合は、壁紙の種類によっては「設定...」をタップして、壁紙の設定を行うことができます。

2 設定したいきせかえをタップ

ホーム画面を追加する

1 ホーム画面をロングタッチ▶「ホーム画面一覧」

- ホーム画面のサムネイルが表示されます。

2 「+」

- ホーム画面は12画面まで追加できます。

■ **ホーム画面を削除する**

▶削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶「削除」

・☒をタップしても削除できます。

■ **ホーム画面を並べ替える**

▶並べ替えたいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶移動させたい場所にドラッグし、指を離す

アプリケーション一覧画面

アプリケーション一覧画面では、本端末にインストールされているアプリケーションを表示します。

1 ホーム画面で「 」

アプリケーションと「おすすめ」アプリケーションの表示を切り替えます。

グループ名／アプリケーション数
グループをタップして、アプリケーションアイコンの表示／非表示を切り替えます。

アプリケーション

グループを編集する

■ グループ名を変更する

1 アプリケーション一覧画面で変更したいグループをロングタッチ

2 「名称変更」▶グループ名を入力▶「OK」

■ ラベルを変更する
▶「ラベル変更」▶色をタップ

■ グループを削除する
▶「削除」▶「OK」

■ グループを追加する

1 アプリケーション一覧画面で「 」

2 「グループ追加」

3 グループ名を入力▶「OK」

■ グループを並べ替える

1 アプリケーション一覧画面で並べ替えたいグループをロングタッチ

2 移動させたい場所にドラッグし、指を離す

■ グループのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション一覧画面で追加したいグループをロングタッチ▶「ホームへ追加」

おしらせ

- 「最近使ったアプリ」は、直前に利用したアプリケーション8項目を自動表示します。
- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」はグループ名の変更および削除はできません。

アプリケーションを編集する

■ アプリケーションを並べ替える

1 アプリケーション一覧画面で並べ替えたいアプリケーションをロングタッチ

2 移動させたい場所にドラッグし、指を離す

■ アプリケーションをアンインストールする

1 アプリケーション一覧画面でアンインストールしたいアプリケーションをロングタッチ▶「アンインストール」▶「OK」▶「OK」

■ アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション一覧画面で追加したいアプリケーションをロングタッチ▶「ホームへ追加」

■ アプリケーション一覧

アプリケーション		説明
	あんしんスキャン	端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。
	ウェザーサービス	天気、気象レーダー、衛星画像、分布予報を表示できます。
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。→P.76
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P.144
	音楽	ミュージックプレイヤーを利用して、本端末やmicroSDカードに保存した音楽を再生します。
	カメラ	→P.117

アプリケーション		説明
	カレンダー	→P.130
	ギャラリー	→P.121
	検索(Google検索)	→P.60
	しゃべってカンタン操作	使いたい機能やアプリ、設定名を話しかけるだけで、ご希望の機能などを簡単に呼び出すことができるアプリです。
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを本端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
	設定	→P.81
	総合書店honto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入して閲覧できる電子書籍ストアです。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。
	デュアルタブブラウザ	2つのウェブページを同時に閲覧できるブラウザです。
	テレビ	→P.112

アプリケーション		説明
	電卓	→P.131
	電話	→P.62
	電話帳	→P.67
	トーク(Googleトーク)	→P.77
	時計	→P.129
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。
	ドコモゼミ	「ドコモゼミ」のポータルサイトから、学習アプリをダウンロードするためのアプリです。
	ドコモ ドライブネット	ドライブネットアプリ対応クレイドルと接続することで、ドライバー向けカーナビゲーションとして利用することができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。→P.128

アプリケーション	説明
ナビ（Google マップ ナビ™）	→P.127
ハイカム	撮影した動画や写真を分析して、自動編集した動画を作成できるアプリです。いろいろなシーンに合わせたテンプレートやBGMを使うことができ、作成した動画はSNSなどへの投稿も簡単に行うことができます。
ブラウザ	→P.77
ホーム切替	ホームアプリを切り替えるためのアプリです。→P.52
ボキャキン	英単語の意味をヒントに、該当する単語が正しいスペルになるようにアルファベットをタッチして入力する英単語学習アプリです。
マップ（Google マップ™）	→P.126
メール	→P.71
メッセージ	→P.69
メッセンジャー	サークル内のみんなとすばやくメッセージを交換することができます。
メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。→P.122
メディアシェア	Wi-Fi Directを利用して、写真や動画を交換することができます。
ローカル（Google＋ ローカル™）	→P.127
Beam	本端末と家電をつなげるアプリです。本端末内やインターネット上の動画・写真・音楽をテレビやオーディオにワイヤレス再生することができます。
BOOKストア マイ本棚	dマーケットBOOKストアで購入した電子書籍を閲覧するためのアプリです。
DiXiM Player	→P.105
dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。
dメニュー	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。

アプリケーション		説明
	Evernote	Webサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できます。情報の保存や閲覧は本端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。
	Fanplus	「ファンプラス」は、宝塚、D-BOYS、アニメ、グラビアアイドルなどのエンタメ系、サッカー、テニス、女子プロゴルフなどのスポーツ系、鉄道、歴史、落語などの文化系など多彩なコンテンツが集まるファンサイトです。
	Flash Player Settings	Adobe® Flash® Playerでのアプリケーションの実行方法を設定できます。
	Gmail	→P.73
	Google+™	サークルに登録したユーザーとだけ情報を共有できるソーシャルアプリです。
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグの視聴・録画予約、外出先からの遠隔録画も可能です。→P.115
	ICタグ・バーコードリーダー	QRコードやバーコードを読み取るためのアプリです。

アプリケーション		説明
	i チャネル	i チャネルを利用するためのアプリです。
	Latitude (Google Latitude™)	→P.128
	MEDIAS NAVI	メーカーサイト「MEDIAS NAVI」に接続します。
	Movie Studio	動画を編集することができるアプリです。
	Play ストア (Google Play)	→P.110
	Play ムービー (Google Play ムービー)	Google Playから映画をレンタルすることができるアプリです。レンタルした映画や端末内の動画をみることができます。
	Qik Video	ソーシャルビデオシェアリング／ビデオチャット／ビデオメール／ビデオアーカイブなどの統合的なビデオコミュニケーションを、ひとつのアプリで簡単に楽しめるサービスです。
	Quickoffice	→P.132
	SDカードバックアップ	microSDカードを利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリです。→P.131
	Sonic CD	ハプティクスに対応したゲームアプリケーションです。

アプリケーション		説明
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P.69
	YouTube™	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。

■ ウィジェット一覧

ホーム画面にウィジェットを貼り付けることで、以下の機能を利用することができます。

ウィジェット		説明
	一括設定	あらかじめ自由に選択しておいた設定内容にワンタッチで一括変更することができます。
	一括設定（外出）	あらかじめ設定しておいた設定内容（外出設定）にワンタッチで一括変更することができます。
	一括設定（自宅）	あらかじめ設定しておいた設定内容（自宅設定）にワンタッチで一括変更することができます。
	一括設定（就寝）	あらかじめ設定しておいた設定内容（就寝設定）にワンタッチで一括変更することができます。
	音楽（小）	簡易的なミュージックの操作パネルを表示することができます。
	音楽（大）	ジャケット画像などを含めたミュージックの操作パネルを表示することができます。

ウィジェット		説明
	カレンダー（近日中の予定）	カレンダーに登録してある近日中の予定が表示されます。
	カレンダー（小）	小さいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	カレンダー（大）	大きいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	交通状況	目的地までの交通状況を表示します。
	診断ツール	本端末に故障が生じていないか診断します。
	時計（2都市表示）	現在地の時間と指定した都市の時間が表示されます。
	時計（アナログ）	アナログ時計を貼り付けます。
	時計（デジタル）	デジタル時計を貼り付けます。
	ドコモ位置情報	ドコモ位置情報の位置提供設定、位置提供履歴を表示します。
	パーソナルエリア	自分の電話番号やマイメニューなどの情報を表示します。
	フォトギャラリー	アルバムなどの画像を表示することができます。
	ブックマーク	ブックマーク一覧を貼り付けます。
	プリインアプリ利用状況	アプリ利用状況を表示します。
	メール	受信トレイを表示し、Eメールを表示したり作成したりできます。

ウィジェット		説明
	連絡先	登録した電話帳を表示します。電話帳の内容によって、電話をかけたり、メール送信などができます。
	Contents Headline	ドコモストアのコンテンツを表示します。
	docomo Wi-Fiかんたん接続	ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。ウィジェットによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。
	Flashlight	ライトを点灯させることができます。
	Gmail	Gmailの情報を表示することができます。
	Google検索	検索ボックスを貼り付けます。→P.60
	Google+投稿	Google+への投稿をすることができます。
	HOT!チャンネル	テレビチャンネルの盛り上がりが、ツイート数でわかるウィジェットです。
	ICタグ・バーコードリーダー	QRコードやバーコードを読み取ることができます。
	ｉチャネルウィジェット	ｉチャネルの情報を取得して表示するウィジェットです。
	Latitude（Google Latitude）	Google Latitudeの情報を表示することができます。
	Play ストア（Google Play）	Google Playの情報を表示することができます。
	YouTube	YouTubeで検索、閲覧することができます。

おしらせ

- 一部のアプリケーション／ウィジェットの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。
- ソフトウェア更新やメジャーアップデートを行うと、アプリケーション／ウィジェットの内容やアイコンの位置が変わることがあります。

検索機能を使う

本端末内の電話帳やアプリケーションを検索したり、ウェブ検索をすることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「検索」

■ 検索対象を設定する

▶「 」▶「設定」▶「検索対象」▶検索対象をタップ

2 検索する文字を入力▶「 」

- 検索結果が表示されます。
- 検索する文字を入力すると、検索候補が表示されます。検索候補を選択して検索を実行することができます。
- 検索候補からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。

■ 音声で検索する

▶「 」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

- 検索対象によってはご利用になれません。

■ タップサーチを利用する

検索したい文字をタップして検索を行うことができます。画面内や画像データの文字や、検索したい文字をカメラ撮影して文字を検索することができます。

<例：画面内の文字を検索する>

1 通知パネルを開いて「タップサーチ」

2「画面内検索」

■ 文字をカメラで撮影して検索する

▶「カメラで検索」▶検索したい文字を撮影

■ 画像データの文字を検索する

▶「画像データから検索」▶検索したい画像をタップ

3 画面上の検索したい文字をタップ

- 認識された文字がマーカー表示されます。 ／ をドラッグして検索する文字を調整できます。
- ロングタッチすると拡大表示されます。

4「 」▶「 」

- テキストボックスをタップして、文字を編集して検索できます。

おしらせ

- タップサーチの文字認識条件は以下のとおりです。
  - 認識可能な文字種類：漢字・ひらがな・英字・カタカナ・数字・記号（白背景に黒文字推奨）
  - 推奨文字サイズ：20～40ドット
- アプリケーションによってはタップサーチモードにすると、画面を正しく表示できないことがあります。

アプリケーション履歴

最近利用したアプリケーションやバックグラウンドで実行中のアプリケーションを表示し、操作画面に切り替えることができます。また、不要なアプリケーションを終了させることもできます。

1 「▭」

- アプリケーション履歴が表示されます。
- バックグラウンドで実行中のアプリケーションは「実行中」と表示されます。

■ バックグラウンドで実行中のアプリケーションを終了したり、履歴の表示から削除する

▶アプリケーションを右または左へスライド

■ バックグラウンドで実行中のすべてのアプリケーションを終了する

▶「実行中のアプリを終了する」

2 表示したいアプリケーションをタップ

おしらせ

- 複数のアプリケーションを同時に起動していると、電池の消耗が早くなる他、端末が不安定になりアプリケーションが強制終了したり、動作速度が低下することがあります。

「おすすめ」アプリケーションのインストール

- アプリケーション一覧画面の「おすすめ」タブには、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。
- アプリケーションアイコンをタップして、アプリケーションのダウンロード画面に移動します。
- ダウンロードしたアプリケーションは、「アプリ」タブの「ダウンロードアプリ」グループに表示されます。
- 「おすすめ」タブの「もっとアプリを見る」をタップすると、ブラウザが起動し、dメニューのトップが表示されます。

1 アプリケーション一覧画面で「おすすめ」タブをタップ

ホームアプリの情報を確認する

1 アプリケーション一覧画面で「⋮」▶「アプリケーション情報」

電話をかける／受ける

電話をかける

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 「(画面左上)」▶電話番号を入力

- 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップして入力した番号を消去します。

■ 発信者番号通知を手動で設定する

▶「」▶「発信者番号通知」▶「通知する」／「通知しない」

- 電話番号の前に「186」／「184」を付けても、番号通知／番号非通知を設定できます。※その発信に限り有効です。

3 「(画面下部)」

4 通話が終了したら「」

おしらせ

- 通話をするときは、別売のイヤホンマイクなどをお使いいただくか、相手の声をスピーカーから流して(P.64)のご利用をおすすめします。
- 「」▶「待機を追加」でプッシュ信号(ポーズ)が入力できます。

■緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

おしらせ

- 画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やロックNo.入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合や、PIN1コードの入力画面、PINロック中、PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- WORLD CALLについて詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際ダイヤルアシストを利用する→P.136

1 **アプリケーション一覧画面で「電話」**

2 **「📞(画面左上)」▶「0」をロングタッチ**

- 「+」が表示されます。

3 **国番号を入力▶地域番号（市外局番）を入力▶相手先電話番号を入力▶「📞(画面下部)」**

おしらせ

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら「操作開始」▶「通話」

■ 着信音、バイブレータをOFFにする

▶◁／▷

■ 着信を拒否する

▶「操作開始」▶「拒否」

■ 伝言メモにする

▶「⋮」▶「伝言メモ」

- 伝言メモの設定・再生→P.66

■ クイック返信する

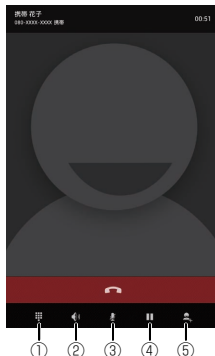
▶「⋮」▶「クイック返信」▶メッセージを選択

- 選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

2 通話が終了したら「📞」

おしらせ

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスを開始に設定しているときに着信を拒否すると、留守番電話サービスセンターまたは指定した転送先へ着信を転送します。

通話中の操作

① ダイヤルボタンを表示します。
② 相手の声をスピーカーから流します。タップするたびにON／OFFが切り替わります。
ヘッドセットやハンズフリーに対応した Bluetooth機器と接続している場合は、相手の声をどこから流すのかを設定します。
③ 自分の声を相手に聞こえないようにします。タップするたびにON／OFFが切り替わります。
④ 通話の保留／保留解除をします。※
⑤ 通話を保留にして、別の相手に電話をかけます。※
※ ご利用になるには、別途キャッチホン契約が必要です。

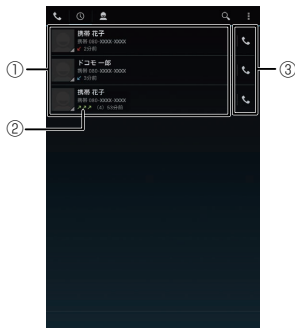
■通話音量を調整する

▶◁／▷

通話履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 「⏲」

① 発信や着信をした相手の名前などが表示されます。

② 履歴アイコンが表示されます。括弧内の数字は履歴件数です。

↗ ：発信した履歴

↙ ：着信した履歴

↙ ：不在着信履歴

③ 電話を発信します。

■ 通話履歴の電話番号を電話帳に登録する

▶登録したい履歴をタップ▶「連絡先に追加」▶「新しい連絡先を作成」▶必要な項目を入力▶「完了」

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。
- すでに登録されている電話帳に登録する場合は、電話帳を選択します。

■ 履歴を削除する

▶「⋮」▶「通話履歴を全件消去」▶「OK」

- 個別に削除したい場合は、削除したい履歴をタップして、「⋮」▶「通話履歴から消去」をタップします。

通話設定／その他

着信拒否の設定や各種ネットワークサービス、インターネット通話などの設定を行います。

1 **アプリケーション一覧画面で「電話」▶「⋮」▶「設定」**

2 **以下の項目から選択**

ネットワークサービス…ドコモのネットワークサービスを設定します。

留守番電話サービス…電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

転送でんわサービス…電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

キャッチホン…通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。

発信者番号通知…電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

国際ダイヤルアシスト設定…P.136

クイック返信…クイック返信のテキストメッセージを編集します。

伝言メモ…伝言メモの設定や再生を行うことができます。

伝言メモ…伝言メモのON／OFFを設定します。

伝言メモ再生…伝言メモを再生します。項目をロングタッチすると削除できます。

伝言メモ設定…着信呼出時間と、応答メッセージの種類を設定します。

着信拒否…指定した電話の着信を拒否します。

連絡先登録外番号…電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。

通知不可能…発信者番号を通知できない相手からの着信を拒否します。

公衆電話…公衆電話からの着信を拒否します。

非通知設定…発信者番号を通知しない相手からの着信を拒否します。

指定電話番号…「着信拒否リスト」に登録した電話番号からの着信を拒否します。

着信拒否リスト…「指定電話番号」で着信を拒否する電話番号のリストを表示します。「電話番号を追加」をタップして電話番号を追加することができます。電話番号を直接入力するか、をタップして電話帳や通話履歴から拒否したい電話番号を追加します。

電源キーで通話を終了…[⏻]を押して、通話を終了できるように設定します。ただし、スリープモード中は通話を終了せずスリープモードを解除します。

アカウント…インターネット通話のアカウントを設定します。

着信を許可…インターネット通話の着信を受けるかどうかを設定します。

インターネット通話を使用…インターネット通話の通話方法を設定します。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。
- 留守番電話サービス※、転送でんわサービス※は、公共モード（電源OFF）に優先して動作します。

※ 呼出時間が0秒以外での電話に対しては、公共モード（電源OFF）のガイダンスのあとにサービスが動作します。

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 「📞(画面左上)」

3 「*25251」と入力▶「📞(画面下部)」

- 公共モード（電源 OFF）が設定されます（画面上の変化はありません）。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する

▶「*25250」と入力▶「📞(画面下部)」

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認する

▶「*25259」と入力▶「📞(画面下部)」

4 「📞」

電話帳

電話帳には電話番号、Eメールアドレスなどを登録できます。

1 アプリケーション一覧画面で「電話帳」

2 「すべて」

電話帳一覧画面

① 電話帳をグループ、すべて、お気に入り表示します。
② スライドして電話帳をスクロールします。
③ 自分の名前を表示します。
④ 電話帳の名前を表示します。
⑤ 電話帳を検索します。
⑥ 電話帳の新規登録や編集、削除などを行います。

⑦ タップしてお気に入りに登録します。
⑧ 電話帳の詳細を表示します。
- 電話番号やメールアドレスをタップして電話をかけたり、メールを作成することができます。

■ **電話帳を削除する**

▶削除したい電話帳をタップ▶「⋮」▶「削除」▶「OK」

■ **電話帳を microSD カードにインポート／エクスポート、ドコモminiUIMカードからインポートする**

▶「⋮」▶「インポート／エクスポート」▶以下の項目から選択

SIMカードからインポート…ドコモminiUIMカードから本端末に電話帳を読み込みます。
ストレージからインポート…microSDカードから本端末に電話帳を読み込みます。Bluetooth通信やメールの添付ファイルなどで本端末内に保存した電話帳も読み込むことができます。
ストレージにエクスポート…本端末からmicroSDカードに電話帳を保存します。
表示可能な連絡先を共有…表示可能なすべての電話帳を、Bluetooth通信やメールで送信します。

■ **表示する電話帳を設定する**

▶「⋮」▶「表示する連絡先」▶表示する電話帳の項目をタップ
- 「カスタマイズ」で表示条件をカスタマイズできます。

おしらせ

- 同じ電話帳（同じ名前やフリガナなど）が複数登録されている場合など、複数の電話帳データを1つにまとめる（統合する）ことができます。
  統合したい電話帳をタップ ▶「⋮」▶「編集」▶「⋮」▶「統合」▶統合する電話帳をタップ▶「完了」
  統合を解除したいときは以下の操作を行ってください。
  結合を解除したい電話帳をタップ ▶「⋮」▶「編集」▶「⋮」▶「分割」▶「OK」

■ 電話帳データの移行やバックアップをする

「SDカードバックアップ」でmicroSDカードを利用して、電話帳のデータの移行やバックアップをすることができます。→P.131

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 アプリケーション一覧画面で「spモードメール」

- はじめて起動したときは、アプリケーションをダウンロードする必要があります。また、はじめてご利用される際には、利用規約に同意いただく必要があります。
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）のテキストメッセージを送受信します。

1 アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

- メッセージ画面が表示されます。

■ SMSを作成して送信する

▶「新規作成」▶「To」に送信先の電話番号、「メッセージを入力」にメッセージを入力▶「➤」

■ 送受信したSMSを表示する

▶メッセージスレッドをタップ

■ SMSを返信する

▶返信したいメッセージスレッドをタップ▶メッセージを入力▶「➤」

■ SMSを転送する

▶メッセージスレッドをタップ▶転送したいSMSをロングタッチ▶「転送」▶「To」に転送先の電話番号を入力▶「➤」

■ SMSの電話番号を電話帳に登録する

▶「 」▶「OK」▶「新しい連絡先を作成」または電話帳をタップ

■ SMSをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

▶「 」▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

おしらせ

- メッセージ入力中に「⋮」▶「絵文字を挿入」で、Android搭載の端末で表示することができる絵文字を、挿入することができます。入力時には顔文字として表示されますが、Android搭載の端末で受信すると、絵文字で表示されます。
- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。

SMSを削除する

1 アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

■ 1件削除する

▶メッセージスレッドをタップ▶削除したいSMSをロングタッチ▶「削除」▶「削除」

■ メッセージスレッドを削除する

▶削除したいメッセージスレッドをロングタッチ▶「削除」▶「削除」

- メッセージスレッド内のSMSがすべて削除されます。

■ すべてのメッセージスレッドを削除する

▶「⋮」▶「すべてのスレッドを削除」▶「削除」

おしらせ

- 以下の操作でSMSを保護できます。
  メッセージ画面でメッセージスレッドをタップ ▶保護したいSMSをロングタッチ▶「ロック」

SMSの設定を変更する

1 メッセージ画面で「⋮」▶「設定」

2 設定する項目をタップ

古いメッセージを削除…保存件数が制限件数の上限に達したとき、古いメッセージから自動的に削除するように設定します。

テキストメッセージの制限件数…メッセージスレッドごとの制限件数を設定します。

受取確認通知…送信したメッセージの受取通知を毎回確認できるように設定します。

SIMカードのメッセージ…ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知…新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択…新着SMSをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション…新着SMSをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

- バイブレーションを有効にするには、本体設定の「音」の「バイブレータ」を有効にする必要があります。→P.88

Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントを本端末に設定し、パソコンと同じようにEメールを送受信できます。

●「メールのアカウントを設定する」→P.40

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「メール」

- 受信トレイ画面が表示されます。

■ 受信トレイを更新する

▶「⟳」

- 新着メールがある場合は受信し、「受信トレイ」に表示されます。

■ Eメールをmicro SDカードにインポート／エクスポートする

▶「⋮」▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

2 読みたいメールをタップ

■ Eメールを返信する

▶「↩」▶メッセージを入力▶「送信」

■ Eメールを全員に返信する

▶「↩↩」▶メッセージを入力▶「送信」

■ Eメールを転送する

▶「→」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶「送信」

■ Eメールを削除する

▶「🗑」

Eメールを作成して送信する

1 受信トレイ画面で「✉+」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■ CcやBccを追加する
▶「CC／BCC」

3 「件名」に件名を入力

4 「メールを作成します」にメッセージを入力

■ 添付ファイルを追加する
▶「📎」▶添付ファイルの種類をタップ▶添付ファイルをタップ

5 「送信」

Eメールの設定を変更する

1 受信トレイ画面で「⋮」▶「設定」▶「全般」または設定するアカウントをタップ

2 設定する項目をタップ

■ 全般の設定を行う

自動表示…メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。

メッセージの文字サイズ…メッセージの文字サイズを設定します。

画像の表示を確認…メール内の画像を表示しないように設定します。

■ 選択したアカウントの設定を行う
▶以下の項目から選択

アカウント名…アカウント名を変更します。

名前…名前を変更します。

署名…署名を登録します。

クイック返信…頻繁に使用する文章を登録します。メールの返信時に挿入できます。

優先アカウントにする…メールを送信するときのアカウントとして、現在選択しているアカウントを設定します。

受信トレイの確認頻度…定期的に新着Eメールが届いているか、サーバーに自動で確認する時間を設定します。自動確認をしないようにも設定できます。
※ 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

メール着信通知…新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択…新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション…新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。
- バイブレーションを有効にするには、本体設定の「音」の「バイブレータ」を有効にする必要があります。→P.88

受信設定…受信サーバーについて設定します。

送信設定…送信サーバーについて設定します。

アカウントを削除…現在選択しているアカウントを削除します。

Gmail

GmailはGoogleのメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

●Gmailを利用するには、Google アカウントを設定する必要があります。→P.40

Eメールを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「Gmail」

- メッセージスレッド一覧画面が表示されます。
- Gmailでは、返信ごとにEメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着Eメールが既存のEメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のEメールや、件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

■ アカウントを切り替える

▶画面左上のアカウントをタップ▶表示したいアカウントをタップ

■ Gmailを更新する

▶「 」

- 本端末のGmailとウェブサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

■ Eメールを検索する

▶「 」▶検索ボックスにキーワードを入力▶「 」

2 メッセージスレッドをタップ

- メッセージスレッドに複数のメッセージがある場合、「既読メール： X」をタップするとメッセージの一覧が表示されます。読みたいメッセージをタップしてメッセージを確認できます。

■ Eメールを返信する

▶「 」▶メッセージを入力▶「送信」

■ Eメールを全員に返信する

▶「 」▶メッセージを入力▶「送信」

■ Eメールを転送する

▶「 」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶「送信」

■ Eメールを削除する

▶「 」▶「削除」

Eメールを作成して送信する

1 **メッセージスレッド一覧画面で「✉+」**

2 **「To」に送信相手のメールアドレスを入力**

■ CcやBccを追加する
▶「CC／BCCを追加」

3 **「件名」に件名を入力**

4 **「メールを作成」にメッセージを入力**

■ 添付ファイルを追加する
▶「📎」▶添付ファイルをタップ

5 **「送信」**

メッセージスレッドの管理

1 **メッセージスレッド一覧画面でスレッドをロングタッチ**

2 **以下の項目から選択**

🗄 …メッセージスレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたメッセージスレッドは「受信トレイ」に表示されません。「すべてのメール」に表示されます。
🗑 …メッセージスレッドを削除します。
🏷 …メッセージスレッドのラベルを追加、変更します。
✉／📭…メッセージスレッドを未読／既読にします。

Gmailの設定を変更する

1 メッセージスレッド一覧画面で「 ⋮ 」▶「設定」▶「全般設定」または設定するアカウントをタップ

2 設定する項目をタップ

■ 全般設定を行う

削除前に確認する…メールを削除するときに、確認画面が表示されるように設定します。

アーカイブする前に確認する…メールをアーカイブするときに、確認画面が表示されるように設定します。

送信前に確認する…メールを送信するときに、確認画面が表示されるように設定します。

自動表示…メッセージの削除、アーカイブした後に表示する画面を設定します。

メッセージの文字サイズ…メッセージの文字サイズを設定します。

検索履歴を消去…検索履歴を消去します。

メール内の画像を表示しない…メール内の画像を表示しないように設定します。

■ 選択したアカウントの設定を行う

▶以下の項目から選択

優先トレイ…現在選択しているアカウントの優先トレイ（重要なメールを振り分けたトレイ）を表示するように設定します。

メール着信通知…新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音とバイブレーション…着信音やバイブレーションなどの設定をします。「メール着信通知」がONのときに選択できます。

- バイブレーションを有効にするには、本体設定の「音」の「バイブレータ」を有効にする必要があります。→P.88

署名…署名を登録します。

Gmail同期…同期について設定します。

同期するメールの日数…同期するメールの日数を設定します。

ラベルの管理…ラベルを利用してメールを管理します。

添付ファイルのダウンロード…Wi-Fi接続時に最近のメールの添付ファイルを自動的にダウンロードするように設定します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁や自治体から配信される緊急地震速報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 以下の場合はエリアメールを受信できません。
  - 圏外時
  - 電源OFF時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - 通話中
- 以下の場合はエリアメールを受信できない場合があります。
  - パケット通信中（データ通信中）
  - Wi-Fiテザリング利用中
  - USBテザリング利用中
  - ソフトウェア更新中
  - メジャーアップデート中
  - 本端末の空き容量が少ないとき
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

■ 緊急速報「エリアメール」受信

内容通知画面が表示され、ブザー音（緊急地震速報）／着信音（津波警報、災害・避難情報）とバイブレーション、お知らせLEDの点滅でお知らせします。

- ブザー音や着信音の音量は変更できません。

■ 受信したエリアメールを後で閲覧する

1 **アプリケーション一覧画面で「エリアメール」**

2 **エリアメールをタップ**

緊急速報「エリアメール」の設定をする

1 **アプリケーション一覧画面で「エリアメール」**

2 **「⋮」▶「設定」▶以下の項目から選択**

受信設定…エリアメールを受信するかを設定します。

着信音…着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。

受信画面および着信音確認…緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信動作を確認します。

その他の設定…緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。

Google トーク

Google トークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Google アカウントを所有する相手とチャットができます。

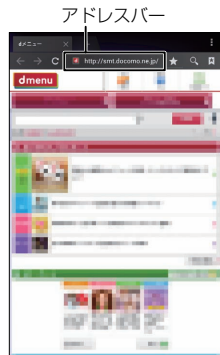
- ●Google トークを利用するには、Google アカウントを設定する必要があります。→P.40
- ●Google トークの詳細については、以下の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  トークの画面で「⋮」▶「ヘルプ」

1 アプリケーション一覧画面で「トーク」

ウェブブラウザ

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを利用できます。

ブラウザを起動してウェブページを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「ブラウザ」

アドレスバー

2 アドレスバーをタップ▶URLまたはキーワードを入力

- アドレスバーが表示されていない場合は、タッチパネルを下にスライドしてください。

■ 音声検索を行う
▶アドレスバーをタップ▶「」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

3 **候補リストから表示したいウェブページをタップ**

■ ウェブページ表示中の操作

■スクロール

- スクロールしたい方向にスライド→P.34

■拡大／縮小

- 拡大／縮小したい箇所を2本の指で広げる／狭める→P.34
- 拡大したい部分をダブルタップ（2回続けてタップ）、再度ダブルタップしてもとの表示に戻す

■ウェブページを前後に移動

- 「」で前のページに戻る、「」▶「進む」で次のページに進む

■ ウェブページに含まれる文字を検索する

1 **ウェブページ表示中に「」▶「ページ内を検索」**

2 **検索文字を入力**

3 **「」／「」**

- 前後の一致する文字を表示します。

4 **「完了」**

- 検索を終了します。

■ ウェブページに含まれる文字をコピーする

1 **ウェブページ表示中にコピーしたい文字をロングタッチ**

■ リンクされている文字の場合
▶「テキストを選択してコピー」

2 **「」または「」でコピーしたい範囲を選択▶「コピー」**

おしらせ

- コピーした文字は、ブラウザの検索ボックスやEメールなど他のアプリケーションに貼り付けることができます。貼り付けたいテキストボックスをロングタッチして「貼り付け」をタップしてください。

ブックマークを利用する

ウェブページをブックマークに登録して、すばやくウェブページを開くことができます。

■ ブックマークに登録する

1 **登録したいウェブページで「」**

2 **ブックマークのラベルなどを確認／変更する▶「OK」**

■ ブックマークに登録したウェブページを表示する

1 **ウェブページ表示中に「」**

■ ブックマークを microSD カードにインポート／エクスポートする

▶「⋮」▶「インポート／エクスポート」▶「ストレージからインポート」／「ストレージへエクスポート」

■ 履歴からウェブページを表示する

▶「履歴」▶「今日」、「昨日」など表示したい履歴の項目をタップ▶表示したいウェブページをタップ

■ フォルダを追加する

▶「＋」▶「フォルダを追加」にチェックを入れる▶「OK」▶「新しいフォルダ」▶フォルダ名を入力▶「OK」▶「OK」

- ブックマークを移動するには、ブックマークをロングタッチして「ブックマークを移動」▶フォルダをタップ▶「OK」で移動することができます。

2 表示したいブックマークをタップ

おしらせ

- 履歴表示時、ウェブページ名の右側に☆が表示されます。このアイコンをタップして、ブックマークへの追加（★）／削除（☆）が行えます。

新しいブラウザウィンドウを開く

最大16個のウェブページを開き、切り替えて表示できます。

1 ウェブページ表示中に「⋮」▶「新しいタブ」

- 新しいブラウザウィンドウが開き、設定されているホームページが表示されます。

■ ウィンドウを切り替える

▶画面上部のタブを左右にスライドし、表示するウィンドウのタブをタップ

ウェブページのリンクを操作する

ウェブページに表示されているリンクから、以下の操作ができます。

■URL

- タップしてウェブページを開きます。
- ロングタッチして、URL をコピーしたり、新しいウィンドウで表示するなどできます。

■メールアドレス

- タップしてメールを作成します。
- ロングタッチして、メールアドレスをコピーします。

■電話番号

- タップして電話発信します。

ウェブページに表示されている画像を保存する

1 ウェブページ表示中に、保存したい画像をロングタッチ▶「画像を保存」

■ 保存した画像を確認する

1 ウェブページ表示中に「⋮」▶「ダウンロード一覧」

2 リストをタップ▶「ギャラリー」

ブラウザの設定を変更する

1 ウェブページ表示中に「⋮」▶「設定」

2 設定する項目をタップ

■ ウェブページをダブルタップ（2回続けてタップ）したときの倍率を設定する

▶「ユーザー補助」▶「ダブルタップでズーム」で倍率を設定

■ 文字サイズを変更する

▶「ユーザー補助」▶「テキストの拡大縮小」で倍率を設定

■ ホームページを設定する

- ブラウザ起動時に表示されるページを設定します。

▶「全般」▶「ホームページを設定」▶設定したい項目をタップ

Wi-Fi設定

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「Wi-Fi」

2 「⋮」▶以下の項目から選択

優先順位変更…利用するWi-Fiネットワークの優先順位を変更します。変更したいネットワークの名称をロングタッチして、優先順位を入れ替えます。

詳細設定…詳細の設定を行います。

ネットワークの通知…Wi-Fiのオープンネットワークを検出したときに通知するかどうかを設定します。

スリープ時にWi-Fi接続を維持…スリープモード中にWi-Fiを使用するか（接続したままにするか）を設定します。
使用するように設定すると、モバイルデータの使用量を抑えることができます。
充電時にのみ使用するか、スリープモード中には使用しない（Wi-Fi接続を切断）かを設定することもできます。使用しないように設定すると、モバイルデータの使用量が増加する可能性があります。

ハンドオーバー…ハンドオーバーを有効にするか無効にするかを設定します。
- 有効にした場合、「ネットワークSSID」「セキュリティ」「パスワード」を同一にしたアクセスポイントに切り替えます。

MACアドレス…MACアドレスが表示されます。

IPアドレス…使用しているIPアドレスが表示されます。

おしらせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、と「制限つきで接続済み」もしくは「認証に問題」が表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力してもと「制限つきで接続済み」が表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。

Bluetooth通信

本端末とBluetooth対応機器を、Bluetooth通信を利用して接続できます。本端末をワイヤレスイヤホンセット 02（別売）などと接続して、本端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり、音楽を聴いたりできます。

- すべての Bluetooth 機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。本端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
  - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と本端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  - 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
  - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - 電車内
  - 航空機内
  - 病院内
  - 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth機器と接続する

本端末と他のBluetooth機器を接続し、データのやり取りを行うには、あらかじめ他のBluetooth機器とペアリング（接続設定）を行い、接続を行います。

- Bluetooth機器によって、ペアリングのみ行うBluetooth機器と、接続まで行うBluetooth機器があります。
- あらかじめ相手のBluetooth機能をONにして、接続可能になっていることを確認してください。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「Bluetooth」

2 「Bluetooth」の「OFF」をタップして「ON」にする

- デバイスのスキャンが開始され、利用可能なBluetooth機器がリスト表示されます。
- 目的の機器が表示されないときは、「デバイスの検索」をタップしてください。

3 ペアリングしたいBluetooth機器をタップ

- Bluetooth 機器によっては、本操作で接続される場合があります。

4 「ペア設定する」またはパスキー（PIN）を入力▶「OK」

■ **Bluetooth機器の接続を切断する**

▶切断したいBluetooth機器をタップ▶「OK」

- ペアリングを解除する場合は、解除したいBluetooth機器の[アイコン]をタップして「ペアを解除」をタップします。

■ **接続種別を選択する**

▶ペア設定済みのBluetooth機器の[アイコン]をタップ▶接続する種別にチェックを入れる

- 対応しているBluetooth機器のみ選択できます。

■ **Bluetooth機器の名前を変更する**

▶ペア設定済みのBluetooth機器の[アイコン]をタップ▶「名前を変更」▶名前を入力▶「OK」

■ Bluetooth通信のその他の機能を利用する

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「Bluetooth」

2 「[アイコン]」▶以下の項目から選択

端末の名前を変更…Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示させる名前を変更します。

表示のタイムアウト…他のBluetooth機器から、本端末を検出できる時間を設定します。

受信済みファイルを表示…Bluetooth通信で受信したファイルを確認します。

おしらせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消費を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- SCMS-T非対応Bluetooth機器では、Audioデータの種別にかかわらず、音を聞くことができません。

データ使用

データ通信の有効／無効を切り替えたり、アップロードやダウンロードするデータ量を制限することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「データ使用」

2 以下の項目から選択

モバイルデータ…データ通信（モバイルデータ）の有効／無効を切り替えます。

モバイルデータの制限を設定する…データ通信（モバイルデータ）の利用を制限します。チェックを入れると、グラフの横線（赤色）の右端をドラッグして、データ使用量の上限を設定できるようになります（データ使用量は目安です）。

- データ使用量が上限に達すると、モバイルデータの設定が自動的にOFFになります。
- グラフの横線（オレンジ色）の右端を上下にドラッグして、設定したデータ使用量に達したときに警告を表示するように設定できます。
- グラフの縦線（白色）の下部を左右にドラッグすると、グラフの下に表示されているデータ使用量の期間を設定できます。

データ使用サイクル…データ使用量の毎月のリセット日を設定します。日付をタップし、「サイクルを変更...」をタップし日付を設定します。

データ使用の詳細設定を行う

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「データ使用」

2 「⋮」▶以下の項目から選択

データローミング…海外でのパケット通信を許可するかどうかを設定します。パケット通信料が高額になる可能性があります。また場所によっては、本機能を設定しないとインターネットに接続できない場合があります。

バックグラウンドデータを制限する…バックグラウンドデータを制限するかどうかを設定します。アプリやサービスによっては、Wi-Fiネットワーク未接続時に機能しない場合があります。

Wi-Fi使用を表示する…Wi-Fiの使用状況を表示します。タブを切り替えて表示します。

その他

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」

機内モード…P.85

VPN…P.85

テザリング…P.86

Wi-Fi Direct…Wi-Fi DirectのON／OFFを設定します。→P.87

Wi-Fi Direct設定…P.87

モバイルネットワーク…P.135

- **データ通信を有効にする**…データ通信の有効／無効を切り替えます。
- **データローミング**…P.136
- **アクセスポイント名**…P.37
- **ネットワークモード**…P.135
- **通信事業者**…P.135

PC Link…PC LinkのON／OFFを設定します。→P.104

PC Link設定…PC Linkの設定を行います。

- **PC Link**…PC LinkのON／OFFを設定します。→P.104
- **USB PC Link**…USB PC LinkのON／OFFを設定します。→P.105
- **接続URL表示**…接続URLを表示します。
- **ホスト名変更**…接続URLに用いるホスト名を設定します。
- **ユーザー名／Password初期化**…ユーザー名とPasswordを初期化します。

機内モードに設定する

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信など）が無効になります。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」

2 「機内モード」にチェックを入れる

おしらせ

- 「機内モード」にチェックを入れるとWi-Fi、Bluetooth機能もOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部から接続する技術です。本端末からVPN接続を設定する場合、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- アクセスポイントをspモードに設定している場合、VPN（PPTP）は利用できません。
- あらかじめ、画面ロック解除用のパターンまたはロックNo.、パスワードを設定する必要があります。

■ VPNを追加する

1 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「VPN」**

2 **「VPNネットワークの追加」▶ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定▶「保存」**

■ VPNに接続する

1 **アプリケーション一覧画面で 「設定」▶「その他...」▶「VPN」**

2 **接続したいVPNをタップ▶必要な接続情報を入力▶「接続」**

■ VPNを切断する

1 **通知パネルを開いて、VPN接続中を示す通知をタップ▶「切断」**

USBテザリングを利用する

microUSB接続ケーブル 01（別売）でUSB対応のパソコンなどを本端末と接続し、モバイルネットワークのデータ通信を利用して、パソコンなどをインターネットに接続することができます。

1 **本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する**

2 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ストレージ」▶「⋮」▶「USBでパソコンに接続」▶「USBテザリング」にチェックを入れる**

3 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「テザリング」**

4 **「USBテザリング」▶注意事項の詳細を確認▶「OK」**

■ microUSB接続ケーブルを取り外す
→P.103

おしらせ

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（対応OS）は、以下のとおりです。
  - Windows XP
  - Windows Vista（32bit／64bit）
  - Windows 7（32bit／64bit）
- USBテザリングでデータ通信を行うには専用のドライバが必要です。ドライバのダウンロードなどについては下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/guide/download/

Wi-Fiテザリングを利用する

Wi-Fi接続によるテザリング機能を利用することができます。本端末をアクセスポイント（親機）として利用することで、Wi-Fi対応機器（子機）でインターネットに接続したり、ゲーム対戦などのサービスを利用できます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」▶「ネットワークSSID」、「セキュリティ」、「パスワード」を設定▶「保存」

- お買い上げ時は、「ネットワーク SSID」には「N-08D-XXXXXX」が設定されています。

3 「Wi-Fiテザリング」▶注意事項の詳細を確認▶「OK」

4 Wi-Fi対応機器（子機）に本端末と同じネットワークSSID、同じセキュリティの設定を行う

- Wi-Fi対応機器（子機）と本端末（親機）が接続します。

おしらせ

- 同時に接続できるWi-Fi対応機器は10台までです。
- お買い上げ時の「セキュリティ」の設定は、「WPA2 PSK」となっております。必要に応じて「Open」、「WEP」、「WPA PSK」（TKIP）、「WPA2 PSK」（AES）、「WPA／WPA2 PSK」（TKIP／AES mixed）から選択し、設定を行ってください。
- 設定するチャネルは自動で1～11chのいずれかに設定されます。Wi-Fi対応機器（子機）の設定によっては接続できない場合がありますので、接続するWi-Fi対応機器（子機）の設定をご確認ください。

Wi-Fi Directを利用する

本端末は、簡単にWi-Fiを利用できるWi-Fi Directに対応しています。Wi-Fi Directを利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他の機器とWi-Fi接続ができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」

2 「Wi-Fi Direct」にチェックを入れる

- 「Wi-Fi」、「Wi-Fiテザリング」がONのときは、「OK」をタップします。「Wi-Fi」、「Wi-Fiテザリング」は自動でOFFになりますが、「Wi-Fi Direct」をOFFにしても、自動でONには切り替わりませんので、再度ONに切り替えてください。

■ Wi-Fi Directの設定をする

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」

2 「Wi-Fi Direct設定」

■ ピア・ツー・ピアを行う相手側端末の検索を行う

▶「検索」

■ ピア・ツー・ピアのグループを作成する

▶「グループを作成」

■ ピア・ツー・ピアのグループを削除する

▶「グループを削除」

おしらせ

- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。また、アプリケーションによっては、プリンタなど他の互換機器との接続もできます。

音

マナーモードや着信音などの設定を行います。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「音」

2 以下の項目から選択

音量…着信音や音楽、動画、ゲームの再生音、アラーム音などの音量を設定します。

マナーモード…公共の場所などで、電話の音などを周囲に出さないように設定します。

着信音…電話の着信音を設定します。

デフォルトの通知音…メールなどの通知音を設定します。

バイブレータ…バイブレーションのON／OFFを設定します。

ダイヤルパッドのタッチ操作音…番号の入力時などに利用する、ダイヤルボタンの操作音のON／OFFを設定します。

タッチ操作音…電話番号の入力時などに利用する、ダイヤルボタンの操作音のON／OFFを設定します。

画面ロックの音…画面ロック／ロック解除時の操作音のON／OFFを設定します。

ハプティクス設定…本端末の操作時や本端末から出る音に連動して振動するように設定します。

- **ハプティクス**…本端末の操作時に振動するように設定します。
- **テーマ設定**…振動の種類を設定します。

音連動…本端末から出る音に連動して振動するように設定します。また、振動の強さの設定を行うことができます。

サラウンド…本端末から出る音（通話時の相手の声を除く）にサラウンド効果をかけます。

スピーカー補正…スピーカーからの音を聞きやすく調整するかどうかを設定します。

イヤホン補正…イヤホンの形状を選択して、音を聞きやすく調整します。

おしらせ

<ハプティクス>
- 本端末は、繊細な振動でリアルな触感効果を生み出す「HDハプティクス」技術を搭載しています。
この技術を簡単に体感できるアプリケーションをお試しください。
「HapticsBall」（ハプティクスボール）
https://play.google.com/store/apps/details?id=com.nec.android.bdd.hapticsball
その他のハプティクス対応アプリは、以下をご覧ください。
http://tabletappfun.jp/N-08D/top.html
  - ハプティクスは、一部のアプリケーションを実行中に本端末を操作していなくても振動する場合があります。

ディスプレイ

画面の明るさや文字フォントなどの設定を行います。

1 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ディスプレイ」**

2 **以下の項目から選択**

画面の明るさ…ディスプレイの明るさを調整します。「自動調整」にチェックを入れると、周囲の明るさを検知し、設定した明るさを基準に自動で調整します。

壁紙…P.52

画面の自動回転…本端末の向きに応じて、画面表示を自動で切り替えるかどうかを設定します。

スリープ…画面のバックライトが消灯する（スリープモード）までの時間を設定します。

フォント選択…画面に表示される文字のフォントを設定します。

フォントサイズ…画面に表示される文字の大きさを設定します。

着信ランプ…着信時のお知らせLEDの点灯パターン、点灯色を設定します。

お知らせランプ…不在着信や新着メール、新着メッセージがあるときに、お知らせLEDを点滅するように設定します。

おしらせ

<画面の明るさ>

- 「自動調整」にチェックを入れても、手動でディスプレイの明るさの基準を調節できます。

<お知らせランプ>

- アプリケーション（Gmailなど）によっては、本設定にかかわらず、お知らせLEDが点滅する場合があります。

ecoモード

ecoモードに設定すると、電池の消費を抑えることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ecoモード」

2 以下の項目から選択

ecoモード…ecoモードを設定します。

- **OFF**…ecoモードをOFFにします。
- **オート**…「オート設定」で設定した電池残量や時間に応じて自動で「お好みecoモード」や「しっかりecoモード」に設定します。
- **お好みecoモード**…「お好みecoモード設定」の内容で、ecoモードに設定します。
- **しっかりecoモード**…電池の消費を極力抑えたecoモードに設定します。

お好みecoモード設定…お好みecoモードにしたときの動作を設定します。

- **画面の明るさ**…ディスプレイを暗くします。
- **画面の自動回転・**…画面の自動回転をOFFにします。
- **バックライト消灯**…画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。
- **ハプティクス停止**…ハプティクスをOFFに設定します。
- **BluetoothをOFFにする**…Bluetooth機能をOFFに設定します。

Wi-FiをOFFにする…Wi-Fi機能をOFFに設定します。

GPS機能をOFFにする…GPS機能をOFFに設定します。

同期を停止する…アプリケーションとの同期を停止します。

ライブ壁紙を停止する…ライブ壁紙を設定していた場合、静止画の壁紙に設定します。

オート設定…P.91

節電のすすめ…電池の消費を抑えるコツを表示します。

オート設定を利用する

ecoモードを「オート」に設定したとき、自動でお好みecoモード、しっかりecoモードをONにする電池残量と時間を設定します。生活スタイル（時間／曜日）に応じて自動でecoモードの設定を切り替えることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ecoモード」

2 「オート設定」

3 以下の項目から選択

電池残量…電池残量を設定します。

お好みecoモード…お好みecoモードの電池残量を設定します。

しっかりecoモード…しっかりecoモードの電池残量を設定します。

時間設定…「新規設定」から開始／終了時間、繰り返し、ecoモードの種類を設定します。

おしらせ

<時間設定>

- 設定済みの項目をロングタッチすると、設定の有効／無効や編集、削除を行うことができます。

ストレージ

本端末やmicroSDカードの容量を確認したり、microSDカードのフォーマットをすることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ストレージ」

2 以下の項目から選択

■ 内部ストレージ

合計容量…本端末のメモリ使用状況の内訳を確認できます。

空き容量…本端末の空き容量を確認します。

■ SDカード

合計容量…microSDカードのメモリ使用状況の内訳を確認できます。

空き容量…microSDカードの空き容量を確認します。

SDカードのマウント解除…microSDカードを安全に取り外せるように認識を解除します。マウントが必要な場合は「SDカードをマウント」と表示され、microSDカードを本端末に認識させます。

SDカード内データを消去…microSDカードをフォーマットします。フォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。

電池

電池の使用状況を確認します。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「電池」

2 確認する項目をタップ

アプリ

アプリケーションの名前やバージョン、メモリ使用状況などを確認したり、強制停止、削除などができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「アプリ」

2 タブをタップ▶アプリケーションをタップ

■ アプリケーションを無効化する

アプリケーションによっては、無効に設定してアプリケーションの動作を停止することができます。

- 無効化したアプリケーションはアプリケーション一覧画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはしません。アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスについて使用可能です。

1 アプリケーション一覧で「設定」▶「アプリ」

2 タブをタップ▶アプリケーションをタップ▶「無効にする」▶「OK」

■ アプリケーションを有効にする

▶無効化したアプリケーションをタップ▶「有効にする」

おしらせ

- アプリケーションを無効化すると、無効化したアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。

ドコモサービス

ドコモアプリのパスワードや、オートGPSなどの設定を行います。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ドコモサービス」

2 以下の項目から選択

アプリケーション管理…定期アップデート確認などの設定を行います。

Wi-Fi…Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。

ドコモアプリパスワード…ドコモアプリで使用するパスワードを設定します。

オートGPS…オートGPS機能の設定などを行います。

ドコモ位置情報…イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。

docomo Wi-Fiかんたん接続…docomo Wi-Fiや、自宅Wi-Fiを簡単に利用するための設定を行います。

プリインアプリの利用状況送信…プリインアプリの利用状況の送信設定を行います。

オープンソースライセンス…オープンソースライセンスを確認します。

アカウントと同期

Google、Microsoft® Exchange ActiveSync®などのオンラインサービスのアカウントを設定すると、本端末と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期、送受信ができます。自動同期させると、ウェブ上の更新情報が本端末に自動更新されます。

●アカウントの追加について→P.40

自動同期を設定する

アプリケーションが自動的にデータの同期を行うかどうかを設定します。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「アカウントと同期」

2 「ON」または「OFF」

- タップするたびに自動同期のON／OFFが切り替わります。

おしらせ

- 本設定によって、パケット通信料がかかる場合があります。また、「OFF」の状態と比較すると電池が消耗します。

手動で同期を開始する

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「アカウントと同期」

2 同期したいアカウントをタップ

3 「⋮」▶「今すぐ同期」

- 同期を中止したい場合は、⋮をタップして、「同期をキャンセル」をタップします。

■ アカウントを削除する

▶「アカウントを削除」

位置情報サービス

位置情報の取得について設定します。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「位置情報サービス」

Googleの位置情報サービス…P.125

GPS機能…P.125

位置情報とGoogle検索…検索結果やサービスの品質向上にGoogleが現在地情報を使用することを許可するように設定します。

セキュリティ

セキュリティロックなどについて設定します。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「セキュリティ」

2 以下の項目から選択

ロック解除セキュリティの設定…画面ロックを解除するときに使うロック解除セキュリティを設定します。本設定によって「顔認識の精度を改善」「パターンを表示する」「自動ロック」「電源ボタンですぐにロックする」「タッチ操作バイブ」「所有者情報」が表示されない場合があります。→P.96

顔認識の精度を改善…フェイスアンロックで使用する顔認識の写真を撮影しなおします。

パターンを表示する…画面ロック解除時に、パターンの軌跡を表示するように設定します。

自動ロック…スリープモードになってから画面ロックされるまでの時間を設定します。→P.89

電源ボタンですぐにロックする…[電源]を押してすぐに画面ロックされるように設定します。

タッチ操作バイブ…画面ロック解除画面で「パターン」や「ロックNo.」を入力するときのバイブレーションのON／OFFを設定します。

所有者情報…画面ロック解除画面に所有者情報を表示するかどうかを設定します。「ロック画面に所有者情報を表示」にチェックを入れ、表示するテキスト（所有者情報）を入力します。

画面ロックセキュリティ…画面ロックを解除するときに、ロック解除セキュリティを入力するように設定します。→P.97

指定番号通知設定…特定の相手からの着信に対して、着信時の動作を変更するように設定します。

連絡先の名前を表示しない…電話帳に登録された名前や画像を表示しないように設定します。

着信ランプを点灯しない…着信ランプを点灯しないように設定します。

着信音を鳴らさない…着信音やバイブレーションを鳴動しないように設定します。

履歴を残さない…着信履歴を残さないように設定します。

指定番号リスト…指定番号通知設定の対象となる電話番号のリストを表示します。「電話番号を追加」をタップして必要な項目を入力し、「OK」をタップするとリストに追加できます（名前を登録しない場合は、電話番号のみを表示します）。電話帳や通話履歴からの参照登録もできます。リストの項目をロングタッチすると、電話発信、SMS送信や編集、削除ができます。

PIN設定…P.98

パスワードを表示する…パスワード入力時に文字を表示するように設定します。

端末管理者…本端末の管理者を有効／無効に設定します。

提供元不明のアプリ…Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。

- 本端末と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

セキュリティポリシーの設定…本端末のセキュリティ管理者用に、セキュリティポリシーの設定を行います。

- あらかじめセキュリティ管理者用パスワードを設定し、デバイス管理者を有効にする必要があります。
- 有効にしたデバイス管理者は「設定」の「端末管理者」に登録されますが、無効に設定することはできません。

暗号化…本端末やmicroSDカードのデータを暗号化することができます。

- 暗号化には文字列のパスワードが必要なため、「ロックNo.」「パスワード」以外のロック解除セキュリティを設定することはできません。
- microSDカードの暗号化中や暗号化解除中に他のアプリケーションからデータの更新を行うと、正常に動作しなくなる場合があります。

信頼できる認証情報…信頼できるCA証明書を表示します。

SDカードからインストール…暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。

認証ストレージの消去…すべての認証情報を削除して、認証情報ストレージパスワードをリセットします。

ロック解除セキュリティを設定する

本端末を一定時間操作しなかったり、[電源]を押すと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになり、画面ロックが設定されます。
お買い上げ時は[ロック]をタップして画面ロックを解除できますが、ロック解除セキュリティを設定し、「画面ロックセキュリティ」を有効にしておけば、画面ロック解除時にパスワード入力や顔認識など、特別な操作が必要になり、セキュリティを強化することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「セキュリティ」

2 「ロック解除セキュリティの設定」

- 「ロック解除セキュリティの設定」の設定が「なし」または「タッチ」以外に設定されている場合は、ロックを解除する操作が必要です。

3 以下の項目から選択

なし…画面をロックしないように設定します。操作4はありません。

タッチ…🔒をタップしてロック解除するように設定します。操作4はありません。

フェイスアンロック…顔認識でロック解除するように設定します。

パターン…パターンを指でなぞってロック解除するように設定します。

ロックNo.…4桁以上の数字を入力してロック解除するように設定します。

パスワード…4文字以上の英数字を入力してロック解除するように設定します。パスワードには英字が1文字以上必要です。

4 画面に従って設定する

■ 画面ロックセキュリティを有効にする

画面ロックを解除するときに、ロック解除セキュリティを入力するように設定します。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「セキュリティ」

2 「画面ロックセキュリティ」にチェックを入れる

■ 画面ロックを解除する

1 スリープモード中に[⏻]

- スリープモードが解除されます。

2 画面の指示に従って画面ロックを解除する

おしらせ

- 5 回連続して解除方法の入力を誤った場合は、30秒間、解除方法の入力ができなくなります。30秒経過してから、再度入力してください。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なおdメニューからは、dメニュー▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」、「お客様サポート」については、P.168をご覧ください。

■ PIN1コード

ドコモminiUIMカードには、PIN1コードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 他の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ ドコモminiUIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になるように設定します。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「セキュリティ」▶「PIN設定」

2 「PIN1コード入力設定」

■ PIN1コードを変更する場合
▶「PIN1コード変更」▶現在のPIN1コードを入力▶「OK」▶新しいPIN1コードを入力▶「OK」▶再度新しいPIN1コードを入力▶「OK」
- あらかじめ「PIN1コード入力設定」を有効にしておく必要があります。

3 PIN1コードを入力▶「OK」

■ PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

■ドコモminiUIMカードのPINロックを解除する

- PIN1がロックされた旨のメッセージが表示されたら、以下のように解除します。
「PINロック解除コード」欄にPINロック解除コードを入力▶「新しいPIN1コード」欄に新しいPIN1コードを入力▶「OK」

おしらせ

- ドコモ miniUIM カードが PIN ロックまたは PUK ロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

言語と入力

本端末で使用する言語を変更したり、キーボード操作時の設定を行います。また、音声検索や、テキストから音声への変換機能を設定します。

1 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「言語と入力」**

2 **以下の項目から選択**

言語…本端末で使用する言語を変更します。

スペルチェッカー…入力時にスペルチェックをするかどうかを設定します。をタップすると、スペルチェッカーの動作を設定できます。

デフォルト…デフォルトで使用するキーボードを設定します。

Androidキーボード…をタップして、Androidキーボードの設定を行います。

ATOK…P.47

Google音声入力…Google 音声入力を利用するかどうかを設定します。をタップして、音声入力の設定を行います。

しゃべってキー入力…をタップして、しゃべってキー入力の設定を行います。

音声検索…音声検索の設定を行います。

- **言語**…入力する音声を認識させる言語を設定します。
- **セーフサーチ**…検索結果のフィルタリングを設定します。
- **不適切な語句をブロック**…音声認識の不適切な結果を表示しないように設定します。

テキスト読み上げの出力…テキスト読み上げに関する設定を行います。

- **Pico TTS**…インストールされている音声合成エンジンについて設定します。日本語には対応していません。をタップすると、音声合成エンジンの動作を設定できます。
- **音声の速度**…テキストの読み上げ速度を設定します。
- **サンプルを再生**…音声合成のサンプルを再生します。

バックアップとリセット

Android向けアプリのバックアップ設定や本端末のリセットを行います。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「バックアップとリセット」

2 以下の項目から選択

データのバックアップ…アプリケーションの設定やデータをGoogle サーバーにバックアップします。

バックアップアカウント…情報がバックアップされているGoogle アカウントを表示します。

自動復元…アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。

データの初期化…本端末内のデータをすべて消去し、お買い上げ時の状態に戻します。「SDカード内データを消去」にチェックを入れると、microSDカード内のデータもすべて消去されます。

日付と時刻

本端末の時計に関する設定を行います。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「日付と時刻」

2 以下の項目から選択

日付と時刻の自動設定…自動で日時を補正するように設定します。チェックを外すと「日付設定」と「時刻設定」を設定することができます。

タイムゾーンを自動設定…ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。チェックを外すと「タイムゾーンの選択」を設定することができます。

日付設定…手動で日付を設定します。

時刻設定…手動で時刻を設定します。

タイムゾーンの選択…タイムゾーンを手動で設定します。

24時間表示…時計の表示を12時間表示か24時間表示かを設定します。

日付形式…日付の表示形式を設定します。

ユーザー補助

操作時に音や振動で反応するユーザー補助アプリケーションを設定します。

- お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションが登録されていません。「ユーザー補助」を設定するには、あらかじめGoogle Playなどから対応するアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ユーザー補助」

開発者向けオプション

本メニューは、開発者向けの設定メニューとなりますので、開発目的でご使用されないお客様は、設定を変更しないようご注意ください。設定を変更すると、正常に動作しなくなる場合があります。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「開発者向けオプション」

2 設定する項目をタップ

端末情報

端末の状態を確認したり、ソフトウェア更新や、OSのバージョンアップを行います。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」

2 以下の項目から選択

ソフトウェア更新…P.146
メジャーアップデート…P.150
MEDIAS NAVI…MEDIAS NAVIからの更新通知を受けるように設定します。
端末の状態…電池残量や電話番号などを確認します。
法的情報…オープンソースライセンスやGoogle 利用規約を確認します。
認証情報…本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細を確認します。
モデル番号…型番を確認します。
端末色…本端末のカラー名称を確認します。
Androidバージョン…Androidバージョンを確認します。
ベースバンドバージョン…ベースバンドバージョンを確認します。
カーネルバージョン…カーネルバージョンを確認します。
ビルド番号…ビルド番号を確認します。

Bluetooth通信

Bluetooth通信機能を利用して、他のBluetooth機器とワイヤレスでデータの送受信が行えます。
●Bluetooth機器との接続方法について→P.82

Bluetooth通信でデータを送信する

＜例：ギャラリーの画像を送信する＞

1 アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」

2 送信したい画像を表示▶「」▶「Bluetooth」

- が表示されているときは、をタップします。
- やが表示されていないときは、タッチパネルに触れると表示されます。

3 送信先のBluetooth機器をタップ

Bluetooth通信でデータを受信する

1 送信側からファイルを送信する

- ステータスバーにが表示されます。

2 通知パネルを開いてBluetoothのファイルの着信通知をタップ▶「承諾」

- 通知パネルから受信を確認し、データを登録します。

おしらせ

●Bluetooth機能搭載機器とデータの送受信を行う場合、プロファイルが異なると送受信できない場合があります。

パソコン接続

本端末とパソコンを接続する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続します。
●microUSB接続ケーブルの抜き差しは、USBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平にして行ってください。→P.32

おしらせ

●microUSB接続ケーブルのUSBプラグはパソコンのUSBポートに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
●データ転送中にmicroUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

microSDカードや本端末内のデータを操作する

microUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンなどを接続して、microSDカードや本端末内のデータをパソコンから読み書きできます。

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

■ カードリーダーモードを利用する

- パソコンを操作して、microSDカードのデータを表示できるようになります。

アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ストレージ」▶「⋮」▶「USBでパソコンに接続」▶「カードリーダーモード」のチェックを入れる▶通知パネルを開いて「USB接続」▶「USBストレージをONにする」

■ メディアデバイス（MTP）を利用する

- パソコンのソフトから本端末およびmicroSDカードへ音楽や動画などのデータを転送／同期することができます。また、本端末内およびmicroSDカード内のデータのコピーや移動をすることができます。

アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ストレージ」▶「⋮」▶「USBでパソコンに接続」▶「メディアデバイス（MTP）」のチェックを入れる

■ カメラ（PTP）を利用する

- 本端末で撮影した画像などを、パソコンへコピーや移動、転送することができます。

アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ストレージ」▶「⋮」▶「USBでパソコンに接続」▶「カメラ（PTP）」のチェックを入れる

microUSB接続ケーブルを安全に取り外す

- カードリーダーモードの場合は、あらかじめパソコン側で「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。

1 通知パネルを開いて「USBストレージをOFFにする」▶「USBストレージをOFFにする」

■ カードリーダーモード以外の場合

アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ストレージ」▶「⋮」▶「USBでパソコンに接続」▶「カードリーダーモード」のチェックを入れる▶パソコン側で「ハードウェアの安全な取り外し」を実行

2 microUSB接続ケーブルを取り外す

PC Linkを利用する

Wi-Fi接続やUSB PC Linkで本端末とパソコンを接続して、パソコンの専用ソフトやブラウザから本端末やmicroSDカードのデータを操作することができます。

- 専用ソフトでは以下の操作ができます。
  - パソコンのファイルを本端末やmicroSDカードにコピー
  - 本端末やmicroSDカードの静止画／動画をパソコンにコピー（おまかせコピー）
  - 本端末の電話帳、メール、ブックマークをパソコンとの間でインポート／エクスポート
  - 指定したウェブサイトを本端末で開く
  - アプリケーションを本端末で検索
- パソコンのブラウザからは以下の操作ができます。
  - 本端末の電話帳、ブックマークの閲覧／編集
  - 本端末やmicroSDカードの静止画／動画の閲覧

専用のソフトでPC Linkを利用する

- あらかじめパソコンに専用のソフトをインストールしてください。専用ソフトのダウンロードや動作詳細については、下記のサイトをご覧ください。
  http://www.n-keitai.com/guide/download/

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「PC Link設定」

2 「PC Link」▶ホスト名を確認▶「OK」

- PC Linkにチェックが入ります。
- ホスト名を変更する場合は、ホスト名を入力して「OK」をタップします。

3 本端末とパソコンを接続する

- Wi-Fiで接続する→P.38
- USB PC Linkで接続する→P.105

4 パソコンで専用ソフトを起動

5 ホスト名を入力▶ユーザー名／パスワードを設定

- 本操作はパソコンで行う操作です。
- 本操作で入力するホスト名は、操作2で確認したホスト名です。
- 本端末の通知パネルに（ユーザー登録通知）が表示されます。

6 通知パネルを開いて「ユーザー登録通知」▶本端末に表示されたユーザー名と、パソコンで入力したユーザー名が同じか確認▶「はい」▶「OK」

- パソコンから本端末のデータを操作できるようになります。

■ ブラウザでPC Linkを利用する
アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「PC Link設定」▶「接続URL表示」を確認し、表示されているURLをパソコンのブラウザのアドレスバーに入力

■ USB PC Linkで本端末とパソコンを接続する

microUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続して、PC Linkを利用できるようにします。

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

2 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「ストレージ」▶「⋮」▶「USBでパソコンに接続」▶「USB PC Link」

3 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「PC Link設定」▶「USB PC Link」

■ microUSB接続ケーブルを取り外す
→P.103

おしらせ

- 1台のパソコンにUSB PC Linkで接続して認識できる端末は1台のみです。

DLNA対応機器を利用する

本端末やmicroSDカードに保存されている画像、動画、音楽のコンテンツデータをDLNA（Digital Living Network Alliance）対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD（NAS）のコンテンツデータを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P.38
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべての DLNA 対応機器間での連携を保障するものではありません。
- 本端末はDTCP-IP に対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保障するものではありません。
- 一部のファイルについては再生できない場合があります。

サーバー（DiXiM Server）を起動する

本端末のサーバー（DiXiM Server）を起動して、DLNA対応機器からのアクセスを許可します。

1 アプリケーション一覧画面で「DiXiM Player」

2 「設定する」▶「DiXiM Server」にチェックを入れる▶「はい」

3 「アクセス制御」▶「クライアント機器の一覧」でアクセスを許可するDLNA対応機器をチェックする

本端末のコンテンツデータの再生や保存をDLNA対応機器で行う

- 本端末のサーバー（DiXiM Server）を起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 DLNA対応機器から本端末のコンテンツデータを操作する

- 本端末のサーバー（DiXiM Server）にアクセスしてコンテンツデータの再生、保存を行います。

おしらせ

- カメラで撮影した動画など、本端末以外のDLNA対応機器では再生できない場合があります。

本端末のコンテンツデータを配信する

本端末のコンテンツデータをDLNA対応機器に配信すると、本端末で再生の操作ができます。

- 本端末のサーバー（DiXiM Server）を起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器からも本端末からのアクセスを許可しておきます。→P.108

1 アプリケーション一覧画面で「DiXiM Player」

2 「視聴する」▶サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択する

3 「設定」▶「タップ時の動作」▶「リモート機器で再生」▶「リモート機器を選択」▶再生先のDLNA対応機器を選択

4 再生する種別を選択▶フォルダを選択▶コンテンツデータを選択

5 プレイヤー画面で再生

DLNA対応機器のコンテンツデータを本端末で再生する

- あらかじめ DLNA 対応機器でコンテンツデータを公開し、本端末からのアクセスを許可しておきます。

1 アプリケーション一覧画面で「DiXiM Player」

2 「視聴する」▶サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択する

3 「設定」▶「タップ時の動作」▶「この端末で再生」

■ 別のDLNA機器で再生する

▶「リモート機器で再生」▶「リモート機器を選択」▶再生先を選択

4 再生する種別を選択▶フォルダを選択▶コンテンツを選択

5 プレイヤー画面で再生

おしらせ

- コンテンツ選択画面でコンテンツデータを1秒以上タッチし、そのまま上方向にスライドすると、再生先一覧が表示され、選択したDLNA対応機器で再生できます。下方向にスライドすると、コンテンツデータのダウンロードができます。ただし、著作権保護されたコンテンツデータはダウンロードできません。

デジタル番組を再生する

レコーダなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組を本端末に保存し、再生することができます。

- DLNA 対応機器がコンテンツデータのアップロードに対応している必要があります。
- 本端末のサーバー（DiXiM Server）を起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器からも本端末からのアクセスを許可しておきます。→P.108
- あらかじめ「保存先設定」でコンテンツデータの保存先を設定しておきます。→P.108

1 **DLNA対応機器からアップロードを実行**

2 **アプリケーション一覧画面で「DiXiM Player」**

3 **「視聴する」▶「持ち出し番組」**

4 **持ち出し番組一覧からコンテンツデータを選択▶プレイヤー画面で再生**

サーバー（DiXiM Server）を設定する

1 **アプリケーション一覧画面で「DiXiM Player」**

2 **「設定する」▶設定する項目をタップ**

DiXiM Server…チェックを入れると、サーバー（DiXiM Server）が起動します。サーバー（DiXiM Server）を終了する場合は、チェックを外します。

サーバー名…DLNA対応機器に表示される名前を変更できます。

アクセス制御…「アクセス権の初期設定」にチェックを入れると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、「クライアント機器の一覧」でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。

保存先設定…DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。本端末またはmicroSDカードに保存できます。

公開フォルダ設定…クライアント機器に公開フォルダを設定します。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 アプリケーション一覧画面で「dメニュー」

- ブラウザが起動し、「d メニュー」が表示されます。

おしらせ

- dメニューのご利用には、パケット通信(LTE／3G／GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 アプリケーション一覧画面で「dマーケット」

- はじめて起動したときは、dマーケットソフトウェア使用許諾書が表示されますので、「同意する」をタップし、「利用開始」をタップします。

Google Play

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、本端末にダウンロード、インストールすることができます。

● あらかじめGoogle アカウントを設定する必要があります。→P.40

1 アプリケーション一覧画面で「Play ストア」

- はじめて起動したときは、Google Playに名称が変わることを紹介する画面が表示されますので、「次へ」をタップします。続いて利用規約が表示されますので、確認したら「同意する」をタップします。

おしらせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Google Playについての情報が必要な場合には、Google Playの画面で「⋮」▶「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションをインストールする

1 Google Playの画面でアプリケーションを検索

2 インストールしたいアプリケーションをタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- お客様がアプリケーションをインストールすることにより、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。

おしらせ

- ダウンロードを停止する場合は、通知パネルを開いてアプリケーションをタップし、☒をタップします。

アプリケーションを購入する

有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前にアプリケーションの購入が必要です。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。

1 Google Playの画面でアプリケーションを検索

2 購入したいアプリケーションをタップ

3 金額表示欄をタップ

- 表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- お客様がアプリケーションを購入することにより、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。
- 利用規約画面に表示される「払い戻しポリシー」や「Googleの請求とプライバシーポリシー」など、重要事項についてはリンクをタップし、内容を確認してください。

■**返金を要求する**

購入後、規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で「⋮」▶「ヘルプ」▶「Androidアプリ」▶「アプリケーションの購入」の各項目をご覧ください。

おしらせ

- spモードをご利用のお客様は、本端末の毎月のご利用料金と一緒に支払いを行うこともできます（コンテンツ決済サービス）。詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- クレジットカードによる初回購入時には、Google ウォレットTMで使用するクレジットカードの情報を入力する必要があります。Google ウォレットは本端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。
  Google ウォレットについて詳しくは、「http://checkout.google.com/ 」を参照してください。
  また、Google ウォレットの情報は本端末に記録されます。画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。→P.95

アプリケーションを削除する

1 **Google Playの画面で「⬇」**

2 **削除したいアプリケーションをタップ**

3 **「アンインストール」▶「OK」**

- 有料のアプリケーションでは「アンインストールと払い戻し」画面が表示されます。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

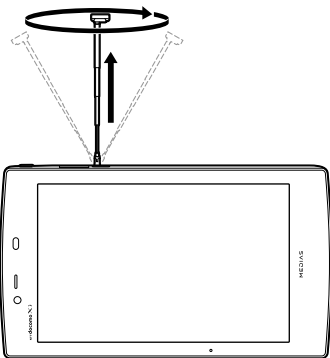
■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよび FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、Xiサービスおよび FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするために、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグアンテナについて

●ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

おしらせ

●ワンセグアンテナを収納するには、ワンセグアンテナの下の方を持って、止まるまで押し入れます。

ワンセグを見る

1 アプリケーション一覧画面で「テレビ」

- はじめてワンセグを起動したときは、チャンネルを設定する必要があります。→P.113

■ 音量を調整する

◁／▷

■ チャンネル設定をする

1 ワンセグ視聴画面で「⋮」▶「設定」▶「エリア切替」

2 「未設定」▶「自動で設定する」

- チャンネルをスキャンし、チャンネル情報を登録します。
- 登録済みのエリアを選択すると、選択したエリアに切り替え、ワンセグを視聴します。

■ チャンネルを手動で設定する

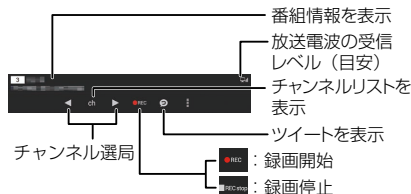
▶「エリアを選択する」▶エリアの地方、都道府県、地域をタップ

■ ワンセグ視聴画面の見かた

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。

① テレビ映像エリア
- 左右にフリックしてチャンネルを選局
- ロングタッチしてチャンネルリストを表示

② データ放送エリア
③ 操作エリア

■テレビ映像エリアをタップして表示
<例：縦画面表示>

■データ放送エリアをタップして表示

戻る ▲ ▼ 選択

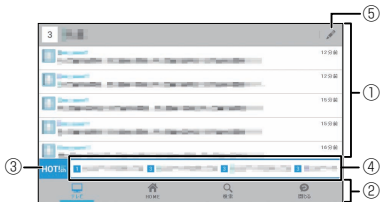
データ放送操作エリア

ツイートを表示する

ツイッターを利用して、ワンセグを見ながら番組の感想やおすすめの番組をほかの人と共有したりすることができます。

- ツイッターを利用するにはLTE／3GまたはWi-Fiで接続してデータ通信可能な状態にあることが必要です。
- ツイートはツイッターユーザーからの投稿によるもので内容は保証するものではありません。

1 ワンセグ視聴画面で「 」

- 視聴しているチャンネルに関連したツイートが表示されます。
- はじめてアプリケーションを起動したときは、利用規約が表示されますので、確認したら「OK」をタップします。

① ツイート表示エリア
- 上下にフリックすることで画面をスクロール
- タップすることでツイートをエリアいっぱいに表示（戻る場合は「←」）
- ロングタッチすることで、返信や引用やリツイート

② 操作エリア
- 「テレビ」：視聴中のチャンネルのハッシュタグでの検索結果を表示
- 「HOME」：フォローしているタイムラインを表示
- 「検索」：ツイートやユーザーを検索
- 「閉じる」：ワンセグ視聴画面に戻る

③ HOT!チャンネル
④ HOTキーワードエリア
⑤ ツイートする

■ ツイートする

1 「✎」▶ツイートを入力▶「ツイート」
- はじめてツイート、返信、リツイートするにはツイッターのログインが必要です。

■ ランキングをおしらせするアプリを利用する

ツイッターなどで盛り上がっている最新のトレンド情報をランキング形式でお届けします。

1 ワンセグ視聴画面で「⋮」▶「HOT!」
- はじめて利用する場合は、指定されたアプリをダウンロードします。
- Google Playに名称が変わることを紹介する画面が表示された場合は、「次へ」をタップして、利用規約を確認し、「同意する」をタップしてください。その後再度操作1を行い、指定されたアプリをダウンロードしてください。

番組表を利用する

地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できます。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。

1 ワンセグ視聴画面で「⋮」▶「番組表」
- はじめて番組表を起動したときは、利用規約に同意いただいた後、地域設定画面が表示されます。

■ 視聴する番組を選ぶ

1 番組表で視聴したい番組をタップ▶「ワンセグ連携」▶「ワンセグ起動」

■ 視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴や録画を予約します。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。

1 番組表で番組をタップ▶「ワンセグ連携」▶「ワンセグ録画予約」／「ワンセグ視聴予約」

2 各項目を確認▶「保存」▶「はい」

録画した番組を再生する

1 ワンセグ視聴画面で「⋮」▶「録画番組の再生」

2 再生したい番組をタップ

- 番組が再生されます。
- ワンセグ視聴画面同様、操作エリアから番組の操作を行います。→P.114

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示され、テレビリンクを登録しておき、あとで関連サイトに接続できます。

- テレビリンクを登録するには、データ放送エリアでテレビリンク可能な項目をタップします。

1 ワンセグ視聴画面で「⋮」▶「テレビリンク」

2 リンク先をタップ▶「はい」

■ テレビリンクを削除する

▶削除したいテレビリンクをロングタッチ▶「削除」▶「1件削除」／「全件削除」▶「はい」

ワンセグの設定を行う

1 **ワンセグ視聴画面で「■」▶「設定」**

2 **以下の項目から選択**

データ放送設定…データ放送の設定を行います。

- **通信確認**…通信を行う際に確認メッセージ表示の有無を設定します。
- **位置情報の利用**…位置情報利用の有無を設定します。
- **端末情報の利用**…端末情報利用の有無を設定します。
- **放送局メモリ削除**…放送局メモリを削除します。

オフタイマー…ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。

字幕／音声…字幕や音声の設定を行います。

エリア切替…「チャンネル設定をする」→P.113

ついっぷる表示設定…ツイート表示の設定を行います。

- **自動スクロール間隔**…自動的にスクロールさせる間隔を設定します。
- **横画面レイアウト**…横画面で表示するときの視聴エリアの大きさを設定します。
- **アカウントの管理**…ツイッターのアカウントを設定します。
- **自動更新**…自動的に更新させる間隔を設定します。
- **文字サイズ**…文字サイズを設定します。

カメラ

■カメラのご利用にあたって

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- 本端末を暖かい場所に長時間置いていたあとは、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色するなど、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- 手ブレ補正を「OFF」に設定している場合、撮影時に本端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音は鳴ります。また、音量を変更することや消去することはできません。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数にあわせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。
- カメラ起動中は撮影認識LEDが点滅します。

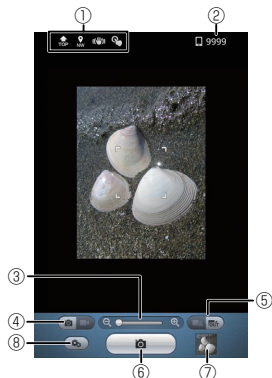
著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面の見かた

■ 静止画

① 画面表示向き・位置情報取得状態・手ブレ補正・タッチ撮影
② 保存先・撮影可能枚数
③ ズームバー（◁／▷でも調整できます。）
④ 静止画／動画の切り替え
⑤ 外側カメラ／内側カメラの切り替え
⑥ シャッター
⑦ 撮影した静止画の表示や編集

⑧ 設定

※「ガイド表示」にチェックを入れておくと、設定を変更するときに簡単な説明が表示されます。

■撮影モードについて

●標準撮影：色々なシーンに合わせて画質優先でキレイに撮影するモードです。

●クイックショット：スピード優先ですばやく撮影できるモードです。すぐ撮影するときにおすすめです。より綺麗に撮影したい場合は撮影モードを「標準撮影」にしてください。

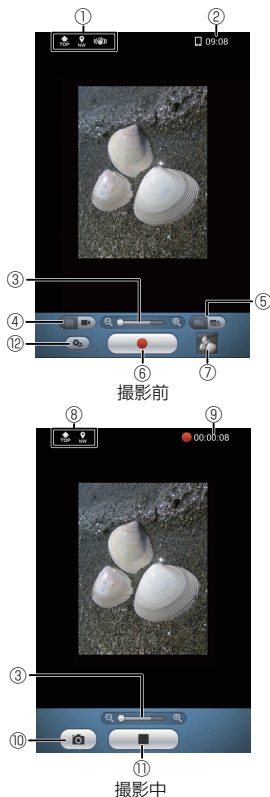
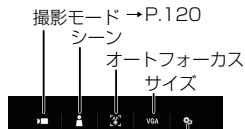
●高感度撮影：薄暗い場所でも撮影できるモードです。少し暗くてもライトを付けずに撮影するときにおすすめです。

●ベストフォト：連写で撮影を行い、写りの良い3枚を自動で選択します。

●連写：撮影間隔と枚数を選択して連続撮影するモードです。動く被写体を撮影するときにおすすめです。

●HDR 撮影：白飛びや黒つぶれを防いで撮影するモードです。

●アプリ登録１／アプリ登録２：お好みのアプリを登録できます。ロングタッチで登録アプリの変更や解除することができます。

動画

① 画面表示向き・位置情報取得状態・手ブレ補正
② 保存先・撮影可能時間
③ ズームバー（／でも調整できます。）
④ 静止画／動画の切り替え
⑤ 外側カメラ／内側カメラの切り替え
⑥ 録画開始
⑦ 撮影した動画の表示
⑧ 画面表示向き・位置情報取得状態
⑨ 撮影経過時間
⑩ 録画中の静止画撮影
⑪ 録画終了
⑫ 設定

共通設定（ライト、手ブレ補正、保存先設定など）

※「ガイド表示」にチェックを入れておくと、設定を変更するときに簡単な説明が表示されます。

■撮影モードについて

●標準：色々なシーンに合わせて録画できます。

●アプリ登録1／アプリ登録2：お好みのアプリを登録できます。ロングタッチで登録アプリの変更や解除することができます。

カメラで撮影する

カメラで撮影した静止画と動画は、「保存先設定」(P.118)で設定した「本体メモリ」または「SDカード」（microSDカード）に保存されます。

■ 静止画を撮影する

1 アプリケーション一覧画面で「カメラ」

2 カメラを被写体に向ける

3 「」

• シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

■ 撮影した静止画の編集や削除、共有する

▶画面右下のサムネイルをタップ

• 静止画をスライドして表示する静止画を切り替えることができます。

① 静止画を削除します。
② 静止画のアップロード、メール添付などを行います。
③ 静止画を編集します。文字入力や手書き入力、スタンプで静止画を装飾したり、静止画に画面効果を与えたりすることができます。を タップして編集した静止画を保存することができます。
④ 静止画をトリミングします。
⑤ 静止画をギャラリーで表示します。
⑥ 静止画撮影に戻ります。

■ 動画を撮影する

1 **アプリケーション一覧画面で「カメラ」**

2 **「 」▶カメラを被写体に向ける**

3 **「 」**

• 録画開始音が鳴り、録画が開始されます。

4 **「 」**

• 録画終了音が鳴り、録画が終了します。

■ **撮影した動画を削除、共有する**

▶画面右下のサムネイルをタップ

• 動画をスライドして表示する動画を切り替えることができます。

① 動画を削除します。
② 動画のアップロード、メール添付などを行います。
③ 動画をギャラリーで表示します。
④ 動画撮影に戻ります。

おしらせ

- 位置情報付加の設定をONにしていても、位置情報の取得が完了する前に撮影した画像には、位置情報が設定されません。
- ズームバーには薄いグレー部分と濃いグレー部分が表示されます。濃いグレー部分までズームし、撮影した場合は画像劣化を伴います。
- 動画撮影中に通知音が鳴ると、通知音が録音される場合があります。

ギャラリー

カメラ撮影やサイトからのダウンロードやDLNA 対応機器からアップロードなどで保存した静止画／動画／持ち出し番組を表示／再生します。

- 表示可能な静止画のファイル形式は以下の通りです。
  JPEG（jpeg,jpg）、GIF（gif）、BMP（bmp）、PNG（png）、WebP（webp）
- 再生可能な動画のファイル形式について→P.122

1 **アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」**

• 撮影画像やダウンロード画像、持ち出し番組など、カテゴリー分けして表示されます。

■ **カメラを利用する**

▶「 」

2 **いずれかのカテゴリーをタップ**

3 **表示したい静止画／動画／持ち出し番組をタップ**

■ **Bluetooth通信やメール送信などの操作を行う**

▶カテゴリや静止画／動画をロングタッチ▶「 」▶操作したいアイコンをタップ

■ **静止画／動画を削除する**

▶「 」▶「項目を選択」▶削除したい静止画／動画をタップ▶「 」▶「削除」

おしらせ

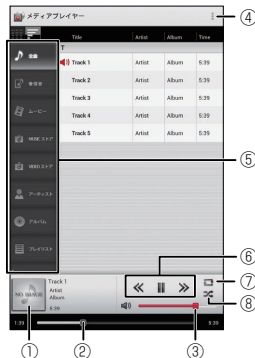
- 保存されている写真の枚数が多い場合、ギャラリー起動時にすべての写真を読み込むのに時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは他の端末と「共有」することはできません。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、本端末またはmicroSDカードに保存した動画や音楽を再生します。

- パソコンから本端末または microSD カードに音楽データを保存しておいてください。→P.102
- 再生可能な音楽データのファイル形式は以下のとおりです。
  AAC LC／LTP、HE-AACv1（AAC+)、HE-AACv2（enhanced AAC+)（3gp, mp4, m4a, aac, ts)、MP3（mp3)、MIDI※、WMA9（wma,asf)
  ※ 再生はできますが、「メディアプレイヤー」アプリではリストに表示されません。
- 再生可能な動画のファイル形式は以下のとおりです。
  H.263（3gp,mp4)、H.264（3gp,mp4,ts)、MPEG-4 SP（3gp)、WMV9（wmv,asf)、VP8（webm,mkv)

1 **アプリケーション一覧画面で「メディアプレイヤー」**

2 **楽曲または動画をタップ**

楽曲再生画面

動画再生画面

① 再生画面の切り替え
② 再生位置を指定
③ 音量調整
④ 設定やヘルプの表示、アプリの終了など
⑤ サイドバー
⑥ 楽曲・動画の先頭に戻るまたは前の曲へスキップ／再生または一時停止／次の曲へスキップ
⑦ リピートOFF／リピートON／1曲リピート
⑧ シャッフルOFF／シャッフルON
⑨ リスト表示に戻る
⑩ 画面の自動回転のON／OFF切替

■ 着信音に設定する

▶「 ⋮ 」▶「設定」▶「着信音設定」▶設定する項目をタップ▶設定したい楽曲をタップ▶「設定」

■ 楽曲や動画を削除する

▶「 ⋮ 」▶「設定」▶「コンテンツの削除」▶削除したい楽曲／動画の 🗑 をタップして赤い状態にする▶「削除」▶「OK」▶「OK」

■ サイドバーのアイコンを入れ替える

▶「 ⋮ 」▶「設定」▶「アイコンの並べ替え」▶ ≑ をドラッグして位置を入れ替える▶「決定」

おしらせ

- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

プレイリストを作成する

プレイリストを利用して、楽曲をお好みの順番に再生することができます。

1 **アプリケーション一覧画面で「メディアプレイヤー」**

2 **サイドバーのアイコンから「プレイリスト」**

3 **「プレイリスト作成」▶プレイリスト名を入力▶「OK」**

4 **「プレイリストに曲を追加」▶追加したい楽曲をタップ**

- 選択された楽曲は が赤い状態になり、タップするたびにプレイリストに追加されます。

5 **「決定」**

■ 順番を入れ替える

▶ を移動したい位置にドラッグ

■ プレイリストから楽曲を削除する

▶ をタップして赤い状態にする

6 **「完了」▶「OK」**

GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- GPS システムの異常などにより損害が生じた場合でも、当社では一切の責任を負いかねます。
- 本端末の故障、誤動作、または停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されていますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化、電波の停止など)されることがあります。
- ワイヤレス通信製品(携帯電話やデータ検出機など)は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの車内
- 大雨、雪などの悪天候
- 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 携帯電話の GPS アンテナ部周辺を手で覆い隠すように持っている場合

位置情報サービスを有効にする

位置情報を利用するサービスを使用するには、あらかじめGPS機能を有効にしておく必要があります。また、Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、おおよその位置情報を検出できるように設定することもできます。

■ GPS機能を有効にする

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「位置情報サービス」

2 「GPS機能」にチェックを入れる▶「同意する」

■ Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの現在地検索を有効にする

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「位置情報サービス」

2 「Googleの位置情報サービス」にチェックを入れる▶「同意する」

おしらせ

- 同意すると、Googleの位置情報サービスにより個人を特定しない形で位置情報を収集します。位置情報の収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

Google マップを利用する

Google マップを利用して、現在地の表示や別の場所の検索、経路の検索などを行うことができます。

- Google マップを利用するには、LTE／3G／GPRSまたはWi-Fiで接続してデータ通信可能な状態にあることが必要です。
- あらかじめ位置情報サービスを有効に設定してください。→P.125
- Google マップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 アプリケーション一覧画面で「マップ」

- 現在地機能を改善する場合は「設定」をタップします。

■ 地図を拡大／縮小する

- 拡大：2本の指の間隔を広げる、ダブルタップ（2回続けてタップ）
- 縮小：2本の指の間隔を狭める、2本の指でタップ

■ 現在地を表示する

▶「 」

■ 場所を検索する

▶「地図を検索」▶検索する場所を入力▶「 」または検索候補をタップ

- 吹き出しをタップすると、詳細情報が確認できます。

■ ストリートビューを見る

▶ストリートビューを表示したい地点をロングタッチ▶吹き出しをタップ▶「 」

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

■ レイヤを表示する

- 地図上に道路の交通状況などの情報を重ねて表示したり、航空写真に切り替えたりすることができます。

▶「 」▶「レイヤ」▶表示したい項目をタップ

- 交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

■ 地図をクリアする

- 表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

▶「 」▶「レイヤ」▶「地図をクリア」

■ Google+ ローカル、Google Latitudeを利用する

▶「 」▶「ローカル」／「Latitudeに参加」

■ 経路を調べる

目的地への経路を表示することができます。

1 地図表示中に「 」

2 上のテキストボックスに出発地を入力

3 下のテキストボックスに目的地を入力

- をタップして、電話帳の住所や地図上の場所を指定することができます。

4 移動手段（ （自動車）／ （公共交通機関）／ （徒歩））をタップ▶「実行」

- 複数の経路が見つかった場合は、希望の経路をタップします。

Google マップ ナビを利用する

目的地への音声ナビゲーションなどができます。

1 アプリケーション一覧画面で「ナビ」

- はじめてアプリケーションを起動した場合、Google マップ ナビの説明が表示されますので、「同意する」をタップしてください。

2 「 」または「 」をタップして移動手段を選択▶以下の項目から選択

目的地を音声入力…声で目的地を入力します。
目的地をキーボードで入力…文字入力で目的地を入力します。
連絡先…電話帳に登録されている住所から目的地を入力します。
スター付きの場所…Google マップでスターを付けた場所から目的地を入力します。

- ナビゲーションが開始されます。

■ ナビゲーションを終了する

▶「 」▶「ナビゲーションの終了」

おしらせ

● 走行中は必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。

Google＋ ローカルを利用する

現在地の情報から、近くのお店や施設を検索し情報を表示することができます。検索したお店などはGoogle マップの画面に表示することができます。

1 アプリケーション一覧画面で「ローカル」

2 検索したい施設などをタップ

- 検索結果の一覧が表示されます。

3 目的の施設などをタップ

- 詳細な情報が表示されます。

Google Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり､ステータスメッセージを共有することができます。また､メールやSMSを送ったり､電話をかけたり､友人の現在地への経路が検索できます。

- 位置情報は自動的に共有されません。Google Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか､友人からの招待を受ける必要があります。

1 アプリケーション一覧画面で「Latitude」

- Google Latitudeの詳細については、以下の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  Google Latitudeの画面で「⋮」▶「ヘルプ」▶「操作手順」▶「その他のマップ機能」▶「Latitude」

トルカ

トルカとは､本端末に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、サイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリケーションに保存され、「トルカ」アプリケーションを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 アプリケーション一覧画面で「トルカ」

2 「OK」

- はじめて起動したときは、アプリケーションをダウンロードする必要があります。また、はじめてご利用される際には、利用規約に同意いただく必要があります。

おしらせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得、表示、更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 更新
  - トルカの共有
  - microSDカードへの移動、コピー
  - 地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。

- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは「OFF」に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリケーションによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。

時計

1 アプリケーション一覧画面で「時計」

- スクリーンをタップすると、バックライトのON／OFFを切り替えられます。

アラームを設定する

1 時計表示中に「アラームを設定」

- 「⋮」▶「設定」で「マナーモード中のアラーム」、「アラームの音量」、「スヌーズ間隔」、「ボリュームキーの動作」などの設定ができます。

2 「アラームの設定」

3 以下の項目から選択

アラームをONにする…アラームが動作するよう設定します。

時刻…アラーム時刻を設定します。

繰り返し…曜日ごとに、同じ時刻にアラームが鳴るように設定します。

アラーム音…アラーム音を設定します。

バイブレーション…アラーム音と同時にバイブレーションするように設定します。

ラベル…設定したアラームにラベルを付けます。

- アラームが鳴ったら、「停止」をタップしてアラームを止めます。「スヌーズ」をタップすると、「スヌーズ間隔」の設定で、再度アラームが動作します。

4 「OK」

カレンダー

本端末のカレンダーと、Googleなどオンラインサービスのカレンダーを同期することができます。
- あらかじめGoogle アカウントを設定する必要があります。→P.40

1 アプリケーション一覧画面で「カレンダー」

■ カレンダー表示を切り替える
▶年月の表示をタップ▶「日」／「週」／「月」／「予定リスト」

予定を作成する

1 カレンダー表示中に予定を入れる日時をロングタッチ▶「新しい予定」

2 各項目を設定▶「完了」

おしらせ

- 通知を設定した時刻になると、ステータスバーに [1] が表示されます。通知パネルを開いて内容を確認できます。「通知を消去」をタップすると通知が消去され、「すべてスヌーズ」をタップすると5分後に再度通知します。

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー表示中に「⋮」▶「設定」

2 「全般設定」▶必要に応じて設定を変更する

- 予定の通知方法や着信音／バイブレーション、リマインダーの事前通知の設定が行えます。

■ Google カレンダー™などのデータと同期する
▶表示するカレンダーのアカウントをタップ▶チェックを入れる
- 「アカウントと同期」（P.94）の設定でカレンダーと同期していないと、同期されません。「アカウントと同期」をタップしてカレンダーと同期する設定をしてください。

電卓

1 アプリケーション一覧画面で「電卓」

- 数式表示欄をロングタッチして、数式や数値の切り取りやコピー、数値の貼り付けができます。
- ▲、▼をタップすると、数式の履歴を表示することができます。

データや設定のバックアップ（SDカードバックアップ）

microSDカードを利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やメディアファイル（静止画、動画、音楽）のバックアップができます。

1 アプリケーション一覧画面で「SDカードバックアップ」

■ 電話帳、spモードメール、ブックマークのデータやメディアファイルなどのバックアップを行う

▶「バックアップ」▶バックアップするデータをタップ▶「バックアップ開始」▶「OK」▶ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」

■ 電話帳、spモードメール、ブックマークのデータやメディアファイルなどの復元を行う

▶「復元」▶復元するデータ種別の「選択」をタップ▶復元するデータをタップ▶「選択」▶「復元開始」▶「OK」▶ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」

- 電話帳、ブックマークなどの場合は、復元方法も選択します。

■ Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーする

▶「電話帳アカウントコピー」▶Google アカウントの電話帳の「選択」をタップ▶「上書き」／「追加」▶「OK」

おしらせ

- メディアファイル（静止画、動画、音楽）は本体メモリに保存されているデータのみがバックアップの対象となり、microSDカードに保存されているデータはバックアップの対象外となります。
- 電話帳は本体のdocomoアカウントの電話帳がバックアップの対象となります。
- ブックマークの復元先はバックアップ元のフォルダと異なる場合があります。
- バックアップ中または復元中にmicroSDカードを取り外さないでください。本端末のデータが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先の端末で削除されることがあります。
- 電話帳を microSD カードにバックアップする場合は名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSD カードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電した後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- SDカードバックアップの詳細については、SDカードバックアップの画面で「⋮」▶「ヘルプ」をタップします。

Quickoffice

ドキュメントの新規作成（Excel、Word、PowerPoint）や、本端末またはmicroSDカードに保存されているドキュメントを表示、編集することができます。次のファイルを開くことができます。

- Excel（Excel 97～Excel 2010）：xls、xlsm、xla、xlam、xlt、xltm、xlsx、xltx
- Word（Word 97～Word 2010）：doc、docx、docm、dot、dotx、dotm、txt
- PowerPoint（PowerPoint 97～PowerPoint 2010）：ppt、pptx、pot、pptm、ppsm、potx、potm、pps、ppsx
- Adobe Acrobat (Acrobat 5～9)※：pdf

※ 編集は不可

1 アプリケーション一覧画面で「Quickoffice」

- はじめて起動したときは、アップデートを紹介する画面が表示されますので、確認したら「Quickofficeを使用する」をタップします。

おしらせ

- Quickoffice に対応していない形式や複雑なデザインなどを含むデータの場合、正しく表示されない場合があります。
- データの内容によっては、パソコンなど他の機器で表示した内容と異なって表示される場合があります。

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■対応ネットワークについて

本端末はクラス4になります。3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

- 海外ではXiエリア外のため、3GまたはGPRSネットワークをご利用ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』

おしらせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

海外で利用できるサービス

通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

（○：利用可能）

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください。
→P.136

おしらせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外でご利用になる前の確認

ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について

海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「FOMA海外兼用ACアダプタ01」、「FOMA ACアダプタ02」または「ACアダプタ03」をご利用ください。

■料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外からネットワークサービスを操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定をする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。
  設定については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

「モバイルネットワーク」の「通信事業者」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
定額サービス適用対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■ディスプレイの表示について

- ステータスバーには国際ローミング中を示すが表示されます。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■日付と時刻について

「日付と時刻の自動設定」、「タイムゾーンを自動設定」にチェックを入れている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時計の時刻や時差が補正されます。→P.100

- 海外通信事業者のネットワークによっては、日付と時刻の自動設定が正しく行われない場合があります。その場合は、手動で設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。

■お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください。→P.135
- 「モバイルネットワーク」の「通信事業者」を「自動選択」に設定してください。→P.135

海外で利用するためのネットワークの設定

お買い上げ時は、自動的にネットワークモードや通信事業者を検出して切り替えるように設定されていますが、手動で切り替えることもできます。

ネットワークモードを設定する

1 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「ネットワークモード」▶利用したいネットワークモードをタップ**

手動で通信事業者を設定する

1 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「通信事業者」▶利用したい通信事業者のネットワークをタップ**

- 「自動選択」をタップすると、最適なネットワークを自動的に設定します。
- 「ネットワークモード」の設定により、表示される通信事業者名は異なる場合があります。

データローミングを有効にする

1 **アプリケーション一覧画面で「設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」**

2 **「データローミング」にチェックを入れる▶「OK」**

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

1 **アプリケーション一覧画面で「電話」**

2 **「（画面左上）」▶＋（「0」をロングタッチ）を入力▶国番号を入力▶地域番号（市外局番）を入力▶電話番号を入力**

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 **「（画面下部）」**

■ 国際ダイヤルアシストを利用する

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかける場合、「国際ダイヤルアシスト」で登録した国に簡単に国際電話をかけることができます。

- あらかじめ「国際ダイヤルアシスト」の設定を行う必要があります。→P.137
- 電話番号が「0」ではじまる場合のみ有効です。

1 **アプリケーション一覧画面で「電話」**

2 **「（画面左上）」▶電話番号を入力▶「（画面下部）」**

3「発信（XX）」（XX：国・地域名称）

- 「+」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。

■国際ダイヤルアシストの設定を行う

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「通話設定」▶「国際ダイヤルアシスト設定」

2 以下の項目から選択

自動変換機能…国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシストを利用して電話をかけるかどうかを設定します。

国番号設定…国際ダイヤルアシストを利用するときに使用する国・地域名称と国番号を登録します。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。→P.62

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた携帯電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側にはご利用の国の日本向け通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 相手からの電話のかけかた

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず、国際アクセス番号+「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号 -81-90（または 80）-XXXX-XXXX

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 卓上ホルダ N41
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01
- FOMA ACアダプタ 01※／02※
- ACアダプタ 03
- ACアダプタ N04
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※
- FOMA DCアダプタ 01※／02※
- DCアダプタ 03
- ワイヤレスイヤホンセット 02／03
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- FOMA 補助充電アダプタ 02※
- FOMA 乾電池アダプタ 01※
- 骨伝導レシーバマイク 02
- ポケットチャージャー 01／02
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- microUSB接続ケーブル 01
- ドライブネットクレイドル02

※ FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じてソフトウェアを更新してください。→P.146
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

本端末の電源が入らない	
●電池切れになっていませんか。	P.29
画面が動かなくなり、電源が切れない	
●本端末を再起動してください。 ■再起動方法 [⏻]を約8秒程度押し続けると、本端末の電源が切れます。[⏻]を離すと自動的に再起動します。 ただし、充電中は自動的に再起動しませんので、手動で電源を入れてください。	－

■充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）	
●アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。	－
●ACアダプタ 03（別売）を使用する場合、microUSB接続ケーブルがACアダプタ本体や本端末と正しく接続されていますか。 また、別売の卓上ホルダを使用する場合、microUSB接続ケーブルがACアダプタ本体や卓上ホルダと正しく接続されていますか。	P.31
●別売の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。	－
●パソコンを使用して充電する場合、パソコンの電源が入っていますか。	－
●パソコンを使用して充電する場合、他のUSB機器は取り外してください。	－
●パソコンを使用して充電する場合、電源供給されているパソコン本体のUSBポートに直接接続してください。	P.32
●パソコンを使用して充電する場合、本端末の電池残量が完全になくなっていませんか。ACアダプタなどでしばらく充電を行ってから接続してください。	－
●パソコンを使用して充電する場合、パソコン側プラグおよび本端末側プラグがしっかりと差し込まれていますか。	P.32
●パソコンを使用して充電する場合、別売の卓上ホルダでは充電できません。	－
●充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	－

■端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
●操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	－
●カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、本端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。	－
電池の使用時間が短い	
●圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	－
●内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.29

●内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。	P.29
タップしたり、キーを押しても動作しない	
●本端末の電源が切れていませんか。	P.33
●正しくタッチパネルに触れていますか。	P.33
●画面ロックされていませんか。	P.33
●スリープモードになっていませんか。 [⏻]を押してスリープモードを解除してください。	P.33
●本端末を再起動してください。 **■再起動方法** [⏻]を約8秒程度押し続けると、本端末の電源が切れます。[⏻]を離すと自動的に再起動します。 ただし、充電中は自動的に再起動しませんので、手動で電源を入れてください。	－
電源断・再起動が起きる	
●[⏻]が押されていませんか。 かばんなどに入れて持ち運ぶときは、誤って[⏻]が押されないようご注意ください。	－
タップしても正しく操作できない	
●手袋をしたままで操作していませんか。	P.33
●爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。	P.33
●ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。	P.33
タップしたり、キーを押したときの画面の反応が遅い	
●本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカード間で容量の大きいデータをやり取りしたときなどに起こる場合があります。	－
ドコモminiUIMカードが認識されない	
●ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.25
時計がずれる	
●長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「日付と時刻の自動設定」にチェックが入っているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.100

本端末の動作が不安定	
●ご購入後に本端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ■セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源を入れ、MEDIASのロゴが表示されてから、ホーム画面が表示されるまで、[◁]を押し続けてください。 ※ お客様の使用状況によっては、[◁]を押すタイミングが変わる場合があります。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 ・必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。	－

文字入力中に文字入力欄が見えなくなる	
●「キーサイズ」、「文字サイズ」を大きめに設定していませんか。小さめに設定するなど設定を調整してください。	P.49
●「自動全画面化（横画面）」のチェックを外していませんか。チェックを入れると文字入力欄が表示されます。	P.48

アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	
●無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。	P.92

■通話

着信音が鳴らない	
●マナーモードを設定中ではありませんか。	P.88
●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。	P.66
●伝言メモの着信呼出時間を「0秒」に設定していませんか。	P.66
●着信音量が最小に設定されていませんか。	P.88
●「指定番号通知設定」で「着信音を鳴らさない」にチェックを入れていませんか。	P.95

[圏外アイコン]の表示が出て電話がかけられない	
●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.41

通話ができない（場所を移動しても[圏外アイコン]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
●電源を入れ直すか、ドコモminiUIMカードを入れ直してください。	－
●電波の性質により、[電波アイコン]を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	－

●電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。	–
通話中、などが画面に表示されない／通話中、ディスプレイに何も表示されない	
●スリープモードを解除してもなどが表示されない場合、近接センサーが保護シートなどで隠れている可能性があります。近接センサーを隠さないようにしてください。	P.24

■画面

ディスプレイが暗い	
●「スリープ」で設定した時間が経過していませんか。	P.89
●ecoモードを設定していませんか。	P.90
●「画面の明るさ」の調整を変更していませんか。	P.89
●電池残量が少なくなっていませんか。	P.90

■音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
●通話音量を変更していませんか。	P.64
●受話口が保護シートなどでふさがれていませんか。	P.24
●受話口と耳の位置がずれていませんか。	P.24
通話中、自分の声が相手に聞こえない、聞こえにくい	
●送話口が指などでふさがれていませんか。	P.24
●送話口と口の位置がずれていませんか。	P.24

■カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
●カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	–
●手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。	P.118
●オートフォーカスを「AF OFF」で撮影していませんか。	P.118
●人物を撮影するときは、オートフォーカスを「顔検出AF」に切り替えてください。	P.118

■ワンセグ

ワンセグ視聴ができない	
●地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。	–
●チャンネル設定をしていますか。	P.113

■海外利用

海外で本端末が使えない（が表示されている場合）	
●WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。	–
海外で本端末が使えない（が表示されている場合）	
●国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。	–

●ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 •「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「LTE／3G／GSM（自動）」に設定してください。 •「モバイルネットワーク」の「通信事業者」を「自動選択」に設定してください。	P.135
●本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。	－
海外でデータ通信ができない	
●「データローミング」を有効にしてください。	P.136
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	
●利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	－
相手の電話番号が通知されてこない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	－
●「指定番号通知設定」を設定していませんか。	P.95

■データ管理

データ転送が行われない	
●USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.102

■Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
●Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.82

エラーメッセージ

PIN1がロックされました。PINロック解除コード（PUKコード）を入力してください。	
●PIN1コードがロックされているときに表示されます。PINロック解除コードと新しいPIN1コードを入力して「OK」をタップしてください。	P.98
PUKがロックされました。	
●PINロック解除コードがロックされているときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.98

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作や設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する

■ スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

2 アプリケーション一覧画面で「遠隔サポート」

- はじめてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力

- 接続後、遠隔サポートを開始します。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。
  ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・イヤホンマイク端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：受話口／レシーバー、スピーカー
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

N-08Dのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

- 更新方法は、次の3種類があります。
  - 自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  - 即時更新：今すぐ更新を行います。
  - 予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

おしらせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続する事をおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - メジャーアップデート中
  - USBテザリング利用中
  - Wi-Fiテザリング利用中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量が不足しているとき
  - ソフトウェア更新に必要な本端末の空き容量が不足しているとき

  ※圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi 接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、更新ができない旨のメッセージが表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のN-08D固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、本端末が起動しなくなることや、書き換えに失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

■ ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新の設定が「自動で更新を行う」に設定されています。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」

2 「ソフトウェア更新設定の変更」

3 「自動で更新を行う」／「自動で更新を行わない」

■ ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 通知パネルを開いて「」

- 書き換え時刻が表示されます。

2 目的の操作を行う

- 「OK」：ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。
- 「開始時刻変更」：予約更新→P.149「ソフトウェア更新の予約更新」
- 「今すぐ開始」：即時更新→P.149「ソフトウェア更新の即時更新」

おしらせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェアの書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、「自動で更新を行わない」の場合や、ソフトウェア更新の即時更新が通信中の場合は、ソフトウェア更新の自動更新ができません。

ソフトウェア更新の即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」

2 「更新を開始する」▶「はい」

■ 書き換え予告画面から起動する

書き換え予告画面を表示▶「今すぐ開始」

3 「ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください予定所要時間：XX分」が表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- 「OK」をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

おしらせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。

■ ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。ステータスバーを開いて通知をタップすると完了画面が表示されます。

ソフトウェア更新の予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェアの書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 書き換え予告画面を表示「開始時刻変更」

2 時刻を入力▶「OK」

■ 予約した時刻になると

開始時刻になると書き換え処理画面（書き換え中と表示されます）が表示され、約3秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

おしらせ

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- メジャーアップデート中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にN-08Dの電源を切っている場合、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーにメモリの空き容量の確認を行う旨のメッセージが表示された場合には、本端末のメモリの空き容量を確認したうえで、再度ソフトウェア更新を行ってください。

- ソフトウェア更新実行時にステータスバーにソフトウェア更新を中断した旨のメッセージが表示された場合は、下記の状態でない事をご確認のうえ、再度更新を行ってください。
  - 圏外
  - 国際ローミング中
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量が不足しているとき
  - 他機能との競合

メジャーアップデート

本端末のOSのバージョンアップ（メジャーアップデート）を行います。

- メジャーアップデートの注意事項については、「ソフトウェア更新」の「ご利用にあたって」を参照してください。→P.147
- 最新のソフトウェアの状況については、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）
http://www.medias.net/ を参照してください。

1 アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」

2 以下の項目から選択

更新を開始する…メジャーアップデートを起動します。

ネットワークを利用して更新…ネットワークを利用してOSのバージョンアップを行います。

SDカードを利用して更新…microSDカードを利用してOSのバージョンアップを行います。

更新の確認…本端末がアップデート可能か確認を行います。

更新を定期的に確認する…自動で定期的に更新情報をチェックし、バージョンアップ可能か確認を行います。

自動ダウンロード…Wi-Fi接続して自動でダウンロードを開始するように設定します。

■「ネットワークを利用して更新」について

- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - 国際ローミング中
  - 「SDカードでの暗号化」が有効のとき→P.96
  - 機内モード中
  - USB接続時のマウント中
  - ソフトウェア更新中
  - USBテザリング利用中
  - Wi-Fiテザリング利用中
  - メジャーアップデートに必要な電池残量が不足しているとき
  - メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が不足しているとき
- 3Gネットワークを利用してメジャーアップデートを行う場合は、パケット通信料がかかります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 更新するソフトウェアバージョンにより、Wi-Fiネットワークへの接続が必要です。
- Wi-Fiネットワークを利用してソフトウェア更新をする際は、あらかじめWi-Fi設定を行いWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。→P.38

■「SDカードを利用して更新」について

- 本端末とパソコンを接続して（P.102)、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）から、パソコンを使ってmicroSDカードに更新するソフトウェアを取り込んで、メジャーアップデートを行います。
  詳しくは、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）を参照してください。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - USB接続時のマウント中
  - 「SDカードでの暗号化」が有効のとき→P.96
  - メジャーアップデートに必要な電池残量が不足しているとき
  - メジャーアップデート完了後、microSDカードに取り込んだ更新ソフトウェアは、手動で削除してください（メジャーアップデート正常終了後は、削除して問題ありません)。

■「自動ダウンロード」について

- 自動ダウンロードはWi-Fiネットワークを利用します。あらかじめWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。→P.38

主な仕様

■本体

品名		N-08D
サイズ		高さ約199mm×幅約114mm×厚さ約7.9mm （最厚部約9.9mm）
質量		約249g
メモリ	ROM	16Gバイト
	RAM	1Gバイト
連続待受時間	LTE	静止時（「自動」設定時※1）：約570時間
	FOMA／3G	静止時（「自動」設定時※1）：約900時間
	GSM	静止時（「自動」設定時※1）：約650時間
連続通話時間	FOMA／3G	約690分
	GSM	約760分
充電時間		ACアダプタ03：約300分 DCアダプタ03：約320分
ワンセグ視聴時間		約470分
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約7.0inch
	画素数	1,024,000画素（横800ドット×縦1,280ドット）
撮像素子	種類	内側カメラ：CMOS 外側カメラ：CMOS
	サイズ	内側カメラ：1/5.0inch 外側カメラ：1/4.0inch
	有効画素数	内側カメラ：約200万画素 外側カメラ：約810万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	内側カメラ：約190万画素 外側カメラ：約800万画素
	デジタルズーム	内側カメラ：静止画：最大約4.0倍／動画：最大約4.0倍 外側カメラ：静止画：最大約5.0倍／動画：最大約5.0倍

記録部	静止画記録枚数	本体保存時：最大約9,900枚※2 microSDカード（1Gバイト）保存時：最大約6,092枚※2
	静止画連続撮影	5および10枚（WXGA、HDの場合） 5および25枚（VGAの場合）
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間	本体保存時：1件あたり最大約350分、合計最大約1,070分※3 microSDカード（1Gバイト）保存時：1件あたり最大約81分、合計最大約81分※3
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	microSDカード（1Gバイト）保存時：約300分※4 microSDHCカード（32Gバイト）保存時：約9,600分（1件あたり最大約600分）※4
音楽再生		WMAファイル、MP3ファイルに対応
無線LAN※5		IEEE802.11b/g/n（2.4GHz帯）準拠
Bluetooth	対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.4.0に準拠※6
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 2
	見通し通信距離※7	約10m以内
	対応プロファイル	HSP、HFP、HID、A2DP、AVRCP、OPP、PBAP、SPP

※1 ネットワークの接続切り替え設定は、「モバイルネットワーク」（P.85）で行います。
※2 サイズ＝VGA（640×480）、画質＝ノーマル（ファイルサイズ＝160Kバイト）の場合で、1フォルダに格納できる最大件数となります。
※3 以下の条件での1件あたりの録画時間です。
サイズ＝VGA（640×480）、画質＝ノーマル
※4 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※5 本製品の無線LANは、Wi-Fi認証を取得しています。
※6 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※7 周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。

■内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	3100mAh

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。
アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「認証情報」

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-08Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.111 W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属部分が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ
http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS DEVICE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your device is a radio transmitter and receiver. Your device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for device employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in position and locations (for example, at the ear and placed on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this device as reported to the FCC when held-to ear is 0.57 W/kg, and when placed on the body, is 1.11 W/kg.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at
https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm
after search on FCC ID A98-FBC3105.
This device has been tested for RF Exposure and meets the FCC RF exposure guidelines.

----

* In the United States and Canada, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

FCC Regulations

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This device has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This device generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this device does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

Hereby, NEC CASIO Mobile Communications, Ltd. declares that this product is compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

CE0168

This product uses non-harmonised frequency and is intended for use in all European countries. The WLAN can be operated in the EU without restriction indoors, but cannot be operated outdoors in France.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* values, when tested for compliance against the standard were 0.099 W/kg for head configuration and 0.367 W/kg for body worn configuration. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value.This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。
詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「Xi」「Xi／クロッシィ」「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「パケ・ホーダイ」「spモード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「エリアメール」「あんしんスキャン」「eトリセツ」「dメニュー」「dマーケット」および「トルカ」ロゴ、「spモード」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Powered by emblend™ Copyright 2010-2012 Aplix Corporation. All Rights Reserved.emblendおよびemblendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSD、microSDHCは、SD-3C, LLCの商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

G-GUIDE MOBILE

- 「メディアシェア」「デュアルタブブラウザ」は日本電気株式会社の商標です。
- 「MEDIAS®／メディアス®」およびロゴは、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

- 「PictMagic／ピクトマジック」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「Tap search」「Quick Shot／クイックショット」「おまかせコピー」「マルチタスク／MULTITASK」「瞬撮カメラ」「ベストフォト」「お好みecoモード」「しっかりecoモード」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
- PhotoSolid®、MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Gmail」ロゴ、「Google トーク」、「Google トーク」ロゴ、「Google 検索」、「Google 検索」ロゴ、「Google 音声検索」、「Google 音声検索」ロゴ、「Google マップ」、「Google マップ」ロゴ、「Google マップ ナビ」、「Google マップ ナビ」ロゴ、「Google＋ ローカル」、「Google＋ ローカル」ロゴ、「Google カレンダー」、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Google+」、「Google+」ロゴ、「Google Latitude」、「Google Latitude」ロゴ、「Google ウォレット」、「Picasa」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access® (WPA)、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-FiロゴおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™およびWPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Evernote」はEvernote Corporationの商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- ATOK は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「ついっぷる」はNECビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。
- DigiOnおよびDiXiMは、株式会社デジオンの商標です。
- Quickofficeは米国およびその他の国における米国Quickoffice, Inc.の商標または登録商標です。
- TouchSense® Technology and TouchSense® System 3000 Series, TouchSense® System 5000 Series, and other software Licensed from Immersion Corporation.
  TouchSense® System 3000 Series, TouchSense® System 5000 Series, and other Immersion software contained herein are protected under one or more of the U.S. Patents found at the following address www.immersion.com/patent-marking.html and other patents pending.

- SRS WOW HD SRS CS Headphone
- SRS WOW HD と SRS CS Headphone は、SRS Labs, Inc.の商標です。WOW HDとCS Headphone技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
SRS WOW HD™は、再生音質を著しく改善し、奥行き感のある豊かな重低音再生、高域の音の抜けの良さと共に迫力ある立体的な3Dエンタテインメント体験を実現します。
SRS CS Headphone™は、DVD映画などマルチチャンネルコンテンツを標準ヘッドフォンまたはイヤフォンで楽しむ際に、5.1サラウンドサウンド体験を実現します。
- Audyssey Laboratoriesからのライセンスに基づき製造されています。米国及び外国特許審議中。Audyssey Premium MobileはAudyssey Laboratoriesの商標です。
Audyssey Premium Mobile™は携帯電話、スマートフォン、タブレットの様々な音響問題を解決します。スピーカーやヘッドフォンの音質改善、低音の拡張、歪を押さえた迫力ある大音量再生を実現します。
AUDYSSEY PREMIUM MOBILE
-
- 画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。
- 最適画像抽出技術には株式会社モルフォの「Morpho Smart Select」を採用しております。「Morpho Smart Select」は株式会社モルフォの商標です。
- HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。
「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。
- 「ソニックCD」は株式会社セガの商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio LicenseおよびAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visual規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)およびAVC規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合
  - MPEG-4 VideoおよびAVC Videoを提供することについてMPEG-LAよりライセンスを受けた者から提供されるMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合

  上記以外の使用についてのライセンスは付与されていません。プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
  (http://www.mpegla.com 参照)
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
 Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。ADOBE® FLASH® PLAYER
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。

- 本製品に搭載しているHMM音声合成エンジンは、修正BSDライセンスを使用しています。

The HMM-Based Speech Synthesis System(HTS) hts_engine API developed by HTS Working Group
http://hts-engine.sourceforge.net/

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、日本電気株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- 著作権を含む知的財産権を保護するため、コンテンツ権利者はMicrosoft PlayReady™を採用しています。PlayReadyで保護されたコンテンツまたはWMDRM（Windows Media Digital Rights Management）で保護されたコンテンツにアクセスするため、本製品はPlayReadyを使用します。コンテンツ使用に対する適切なアクセス制限を本製品が施していない場合、PlayReadyで保護されたコンテンツを使用する機能を無効にするようコンテンツ権利者はMicrosoftに対し要求することができます。この無効化によって何も保護されていないコンテンツまたはPlayReady/WMDRM以外の保護技術で保護されたコンテンツが影響を受けることはありません。PlayReadyをアップグレードするよう、コンテンツ権利者はお客様に要求することができます。PlayReadyのアップグレードをお客様が拒否した場合、そのアップグレードを必要とするコンテンツにお客様はアクセスできません。
- ©SEGA

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

- 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。
  ① 本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
  ② 本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
  ③ 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
  ④ 本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

• 本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
GPLおよびLGPLの詳細は、アプリケーション一覧画面で「設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。
http://www.n-keitai.com/guide/download/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。
SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから dメニュー ▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」(パケット通信料無料)
パソコンから　My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒各種お申込・お手続き
※spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。
■機内モード:電波を発する機能を有効/無効にします。→P.85
■伝言メモ機能:電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P.66
■マナーモード:着信音など本端末から鳴る音を消します。→P.88　※ ただし、シャッター音は消せません。
■公共モード(電源OFF):電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。→P.67
■バイブレータ:電話がかかってきたことを、振動で知らせます。→P.88
そのほかにも、留守番電話サービス(P.66)、転送でんわサービス(P.66)などのオプションサービスが利用できます。

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600＊**（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-08Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151＊**

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414＊**（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-08Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600＊**

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された本端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先〈NEC モバイルインフォメーションセンター〉

■一般電話からの場合

0120-102001

■携帯電話からの場合

0570-064919

※PHSからは受付ができないため、一般電話／携帯電話からおかけください。

受付時間 平日　午前9:00 ～ 12:00
午後1:00 ～ 5:00
(土・日・祝日・NEC 所定の休日を除く)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　日本電気株式会社

'12.9(1版)